
求積ツール_{for} ARCHICAD

リファレンスマニュアル

（Windows 版及び Mac 版共通）

（求積ツール Light for ARCHICAD 共通）

（Archicad28 対応版 Ver12）

目次

1 システムについて	1
1-1 はじめに	2
1-1-1 主な機能	2
1-2 本リファレンスマニュアルについて	3
2 システムの操作	5
2-1 本システムの起動と終了	6
2-1-1 本システムを起動する	6
2-1-2 本システムを終了する	7
2-2 本システムのワークフロー	8
2-3 用語の定義	9
2-4 計算パターンについて	10
2-5 記号・番号について	11
2-6 求積ツール要素の編集について	11
2-7 レイヤーについて	11
3 メインパレット	12
3-1 メインパレットについて	13
3-1-1 集計対象階を設定する	14
3-1-2 現在のフロアの計算内容の他のフロアにコピーする	15
3-1-3 計算パターンを追加する	16
3-1-4 計算パターンを複写する	16
3-1-5 計算パターンを削除する	17
3-1-6 計算パターンを選択する	17
3-1-7 端数処理パターンを選択する	17
4 自動分割区画	18
4-1 はじめに	19
4-1-1 自動分割区画パレットについて	19
4-2 編集コマンド	20
4-2-1 自動分割区画を自動生成する	20
4-2-2 自動分割区画を解除する	23
4-2-3 自動分割区画の元ゾーンの更新をチェックする	23
4-2-4 自動分割区画を更新する	23
4-3 自動分割区画リスト	24
5 求積図形作成	26
5-1 はじめに	27
5-1-1 求積図形作成パレットについて	27
5-2 編集コマンド	28
5-2-1 任意求積図形を作成する	28
5-2-2 任意求積図形作成の指定点順序	29
5-3 求積図形リスト	30

5-3-1 求積図形の順序を変更する	31
5-3-2 求積図形の番号をリナンバリングする	31
6 面積表作成・編集	32
6-1 はじめに	33
6-1-1 面積表作成・編集パレットについて	33
6-2 計算パターンリスト	34
6-2-1 計算パターンリストの見方	34
6-3 編集コマンド	36
6-3-1 面積集計属性を追加する	37
6-3-2 小計フォルダを複製する	37
6-3-3 面積集計属性を削除する	38
6-3-4 小計フォルダを編集する	38
6-3-5 計算要素を編集する	39
6-3-6 小計フォルダの計算式を改行する	40
6-3-7 計算要素の計算式を改行する	41
6-3-8 計算パターンリストの表示項目を設定する	42
6-4 リスト切り替え・各種リスト	43
6-4-1 自動分割区画リスト	43
6-4-2 計算要素リスト	43
6-4-3 求積図形リスト	44
6-5 自動分割区画リスト	45
6-5-1 自動分割区画を割り当てる	45
6-6 計算要素リスト	48
6-6-1 計算式表示の種類	49
6-6-2 色について	50
6-6-3 計算要素リストの表示項目を設定する	51
6-7 求積図形リスト	52
6-7-1 求積図形を割り当てる	52
6-8 プランに変更がある場合	55
6-8-1 自動求積区画を更新する	55
6-8-2 任意求積図形を更新する	62
6-8-3 求積表及び求積図を更新する	63
7 表出力	66
7-1 はじめに	67
7-1-1 「出力の設定」ダイアログ	67
7-1-2 Excel 形式で出力する	68
7-1-3 CSV 形式で出力する	69
7-1-4 ワークシートに出力する	70
8 環境設定	72
8-1 はじめに	73
8-2 端数処理	74
8-2-1 面積の切り上げは 1 つ下の位で処理する	74

8-3 モード設定.....	75
8-3-1 図形番号編集のモード選択について.....	76
8-4 計算パターン.....	77
8-4-1 計算パターンリストの見方	78
8-4-2 計算パターンの作成・削除.....	79
8-4-3 計算パターンリストを編集する.....	81
8-5 記号・番号タイプ	84
8-5-1 記号サイズ及び寸法サイズについて.....	85
8-6 面積表	86
8-6-1 求積図形求積表	87
8-6-2 計算要素求積表・小計フォルダ求積表・自動分割区画求積表	87
8-7 建物面積表.....	88
8-8 図形 1.....	89
8-8-1 三角形	89
8-8-2 四角形	90
8-8-3 台形	90
8-8-4 垂線タイプについて.....	90
8-8-5 斜線タイプについて.....	91
8-9 図形 2.....	92
8-9-1 扇形・弓型	92
8-9-2 円弧(3点)・円弧(中心).....	92
8-9-3 正円	93
8-9-4 楕円	93
9 注意事項.....	94
9-1 チームワークプロジェクトでの利用に関して	95
9-1-1 チームワークプロジェクトでのメインパレット	95
9-1-2 選択したフロアで確保ができない場合	96
9-2 ホットリンクデータの利用に関して	97
9-3 求積ツールオブジェクトを作成したデータの受け渡しについて	97
10 その他	98
10-1 Light 版の機能制限	99
10-2 各種設定ファイルの保存場所.....	100
10-3 サポートに関して.....	100

1 システムについて

1-1 はじめに

- 「求積ツール for ARCHICAD」(以下、本システムまたは製品版といいます)は ARCHICAD のアドオンプログラムです。
- 入力済の 3D 建物モデルや 2D 図面から、求積計算を簡単な操作で効率的に行うことができます。
- 従来の設計業務の中で大きなウェイトを占めていた求積作業の効率化を図ることができます。
- 「求積ツール Light for ARCHICAD」(以下、Light 版といいます)は一部機能に制限があります。

1-1-1 主な機能

- 本システムは大きく 3 つの機能から構成されます。

自動分割区画

Archicad で作成した要素に対して求積図形を自動で作成します

求積図形作成

求積図形を任意に作成します

自動求積図形及び任意求積図形の編集を行います

求積図形の情報を一覧で確認します

面積表作成・編集

計算パターンによって求積表を作成し、集計を行います

自動分割区画または求積図形を計算パターンに割り当てます

1-2 本リファレンスマニュアルについて

- 本リファレンスマニュアルは、Windows 版と Mac 版共通です。
- 本リファレンスマニュアルの画面廻りの画像は、Windows 版での表示です。
- 本リファレンスマニュアルは、Light 版と共通です。
- 本システムをインストールすると Archicad ヘルプメニュー/ドキュメント内に本リファレンスマニュアルが登録されます。

2 システムの操作

2-1 本システムの起動と終了

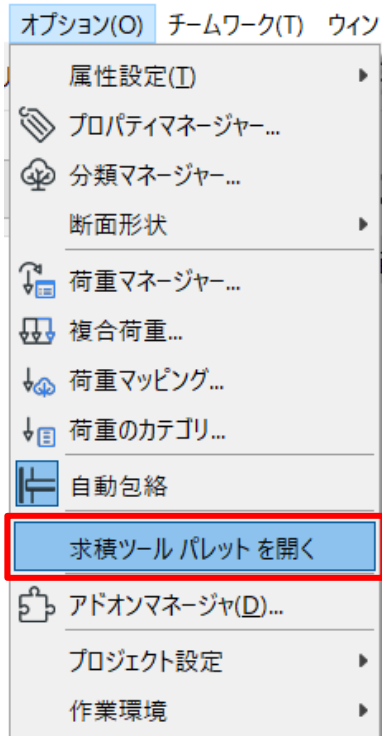
2-1-1 本システムを起動する

○ Archicad メニューから起動します。

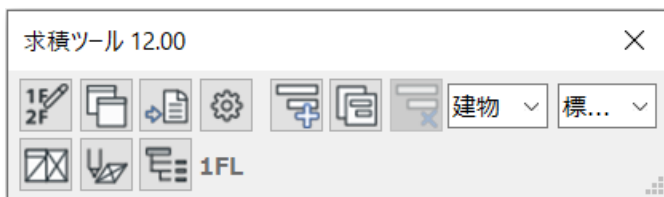
[操作手順]

- 1) Archicad オプションメニューより、「求積ツールパレットを開く」を選択します。
- 2) 本システムのメインパレットが開きます。

2-1-1-1 Archicad オプションメニュー



2-1-1-2 メインパレット(製品版)



2-1-1-3 メインパレット(Light 版)

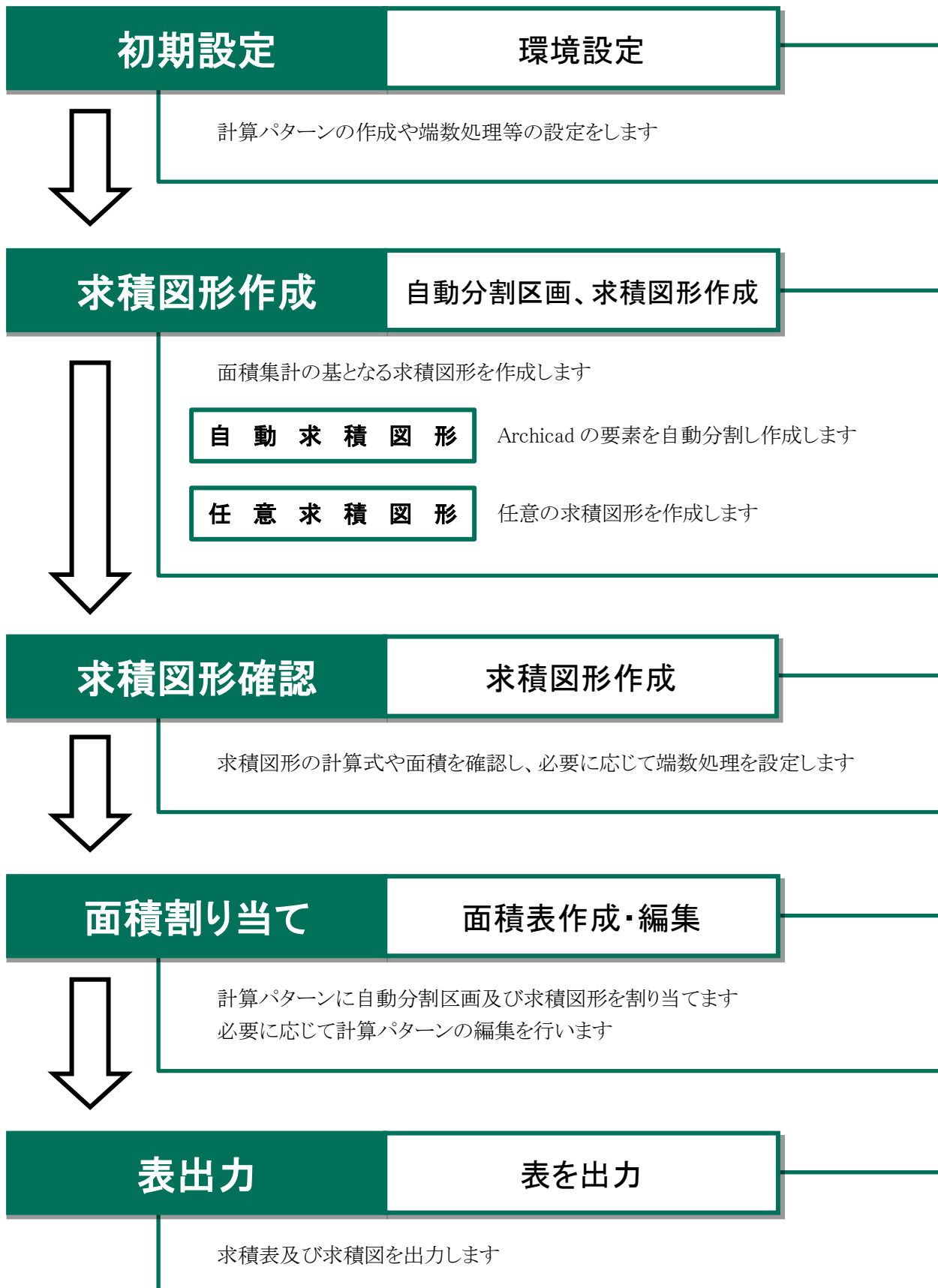


2-1-2 本システムを終了する

- Archicad オプションメニューより、「求積ツールパレットを閉じる」を選択します。
- メインパレットの「×」を選択します。

2-2 本システムのワークフロー

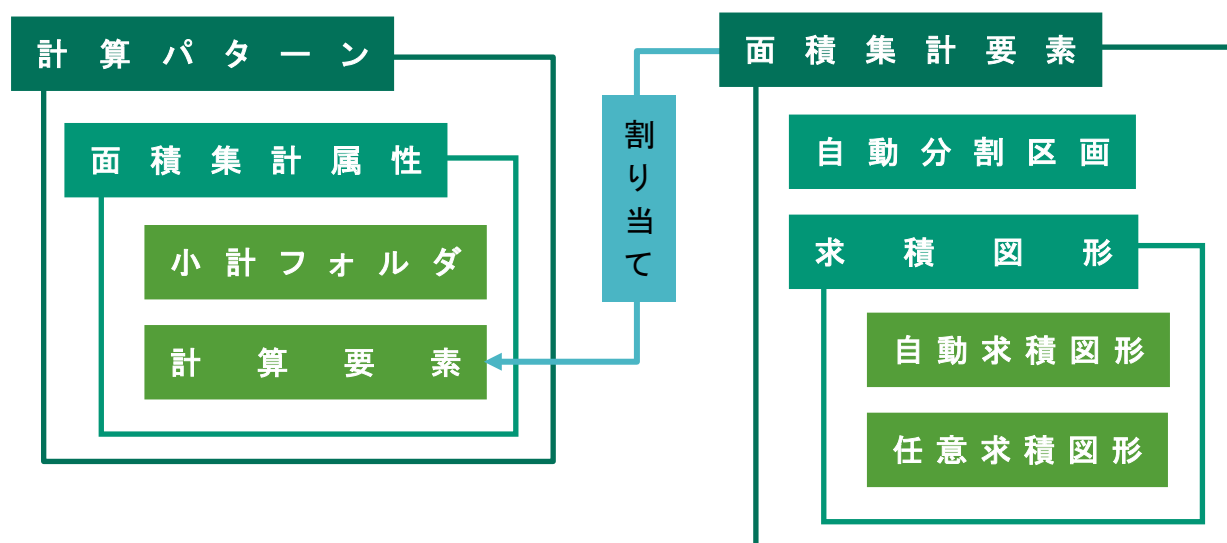
○ 本システムでの主な操作のワークフローです。



2-3 用語の定義

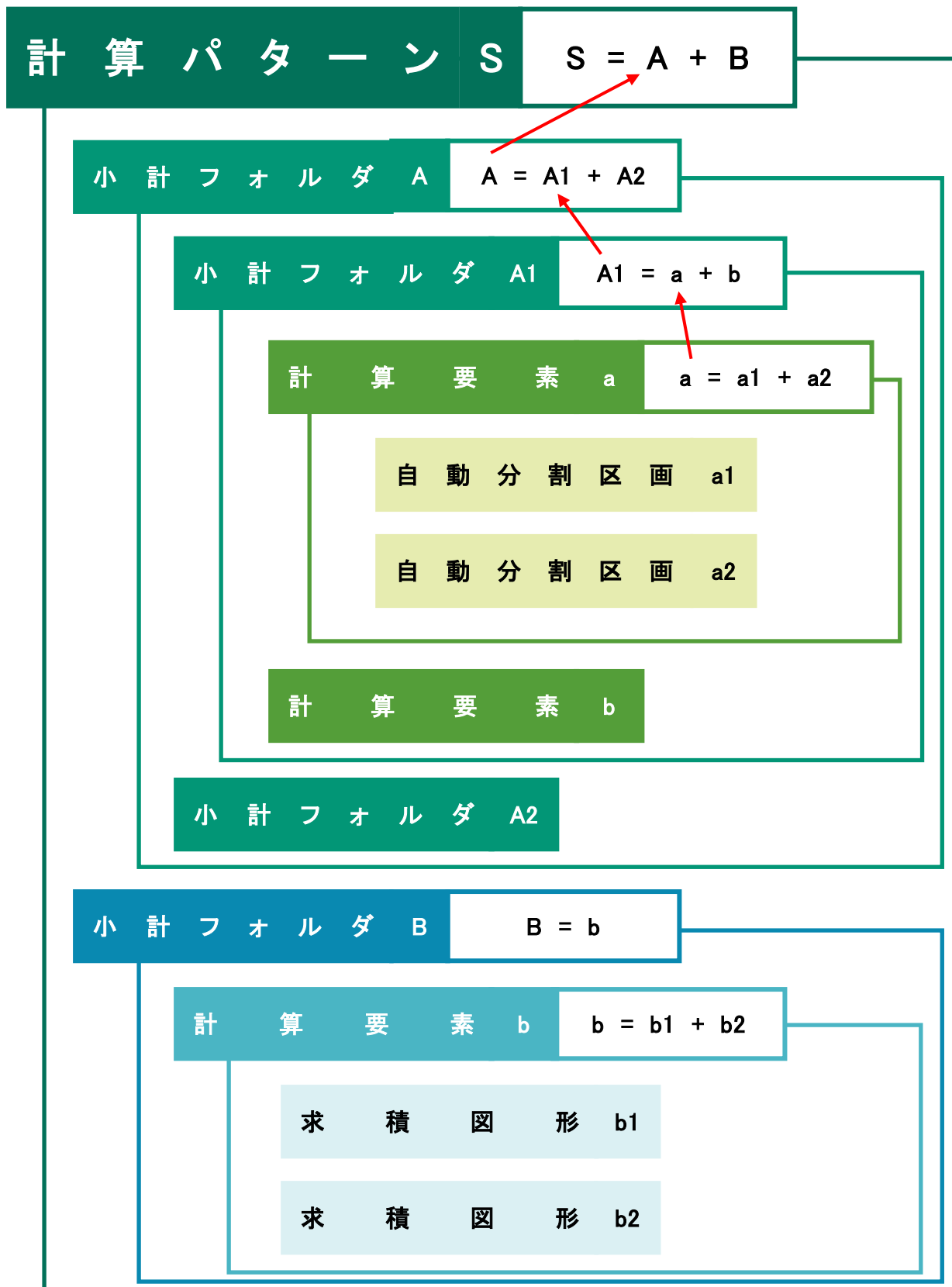
○ 本システムで使用する用語の定義です。

用語	概要	
計算パターン	求積表の基となるもので、ツリー形式で構成されます 複数の計算パターンを作成することで、一つのプロジェクト内で目的の異なる複数の求積表を作成することができます ※Light 版では計算パターンを作成できません	
面積集計属性	面積集計の器となるもので、計算パターンのツリーを構成します 求積図形または面積集計属性を割り当てることで、面積を集計します 「小計フォルダ」と「計算要素」が含まれます	
	小計フォルダ	下層に含まれる小計フォルダまたは計算要素の面積を集計します
	計算要素	面積集計要素を割り当て、面積を集計します
面積集計要素	面積集計属性に割り当てることのできる要素です 「自動分割区画」と「求積図形」が含まれます	
自動分割区画	求積図形を自動的に生成した Archicad の要素です 複数の自動求積図形で構成されます	
求積図形	面積集計の基となる図形です 計算式および面積が自動計算されます 計算要素に割り当てることで、面積が集計されます 「自動求積図形」と「任意求積図形」が含まれます	
	自動求積図形	Archicad の要素の自動分割によって生成する求積図形です
	任意求積図形	任意で作成する求積図形です
記号・番号	面積集計属性および求積図形を識別します 記号タイプと番号タイプの組み合わせで構成されます	
求積ツール要素	本システムで作成する要素です 平面図の「求積表」及びワークシートの「各求積表」と「求積図形」が含まれます	



2-4 計算パターンについて

- 本システムでは、計算パターンによって面積を集計し、計算パターンを求積表として出力します。
- 計算パターンは面積集計属性によって、ツリー形式に構成されます。
- 階層が上の面積集計属性は、階層が下の面積集計属性または面積集計要素の面積を集計します。



2-5 記号・番号について

- 本システムでは、各面積集計属性や各面積集計要素を「記号・番号」によって区別しています。
- 「記号・番号」は、「記号タイプ」と「番号タイプ」の組み合わせです。

記号タイプ	番号タイプ	組み合わせ例
○	1,2,3	①
□	A,B,C	A
◇	a,b,c	a
◎	ア,イ,ウ	ア
■	イ,ロ,ハ	イ
◆	あ,い,う	あ
無	い,ろ,は	い
	I,II,III	I

2-6 求積ツール要素の編集について

- 本システムでは、様々な目に見えない求積ツール要素の関連付けを Archicad 内で行っています。
- 関連付けの整合を保持するため、求積ツール要素を編集する場合はメインパレットを開いて操作します。
- 求積図形の削除は、自動分割区画パレットの「自動分割区画解除」コマンド、または求積図形作成パレットの「計算式と図形の削除」コマンドで行います。
- メインパレットを開いた状態で求積図形をコピー＆ペーストした場合、求積図形リストに追加されます。
- コピー＆ペーストした求積図形の面積の割り当ては解除されます。
- メインパレットを閉じた状態で求積図形をコピー＆ペーストした場合、記号・番号が重複します。

2-7 レイヤーについて

- 平面図での求積ツール要素の書き込みレイヤーは計算パターン毎に設定します。
- 設定した書き込みレイヤーは後から変更できません。
- デフォルトの「建物」計算パターンの書き込みレイヤーは「求積ツール」レイヤーで固定です。
- 本システムの起動時及び求積ツール要素の作成時には書き込みレイヤーを表示します。
- Light 版では、集計対象となる求積図形のレイヤーは、「求積ツール」レイヤーで固定です。

3 メインパレット

3-1 メインパレットについて

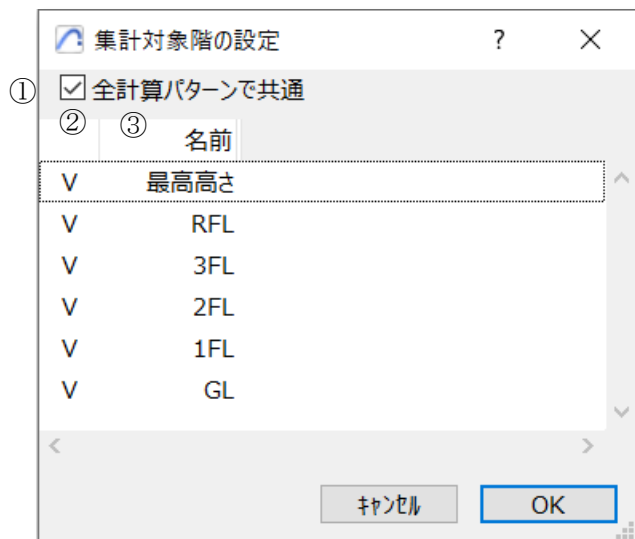


番号	項目名	内容	Light
①	集計対象階の設定	計算対象階を設定します	○
②	フロア計算内容のコピーペースト設定	フロアの求積図及び計算パターンをコピーします	×
③	出力の設定	各階求積図・求積表、フロア別求積表を出力します	○
④	環境設定	環境設定を行います	△
⑤	計算パターンの追加	環境設定の計算パターンをプルダウンメニューに追加します	×
⑥	計算パターンの複写	現在の計算パターンをプルダウンメニューに複写します	×
⑦	計算パターンの削除	現在の計算パターンをプルダウンメニューから削除します	×
⑧	計算パターン選択	計算パターンを選択します	×
⑨	端数処理パターン選択	端数処理を選択します	×
⑩	自動分割区画	「自動分割区画」パレットに切り替えます	○
⑪	求積図形作成	「求積図形作成」パレットに切り替えます	○
⑫	面積表作成・編集	「面積表作成・編集」のパレットに切り替えます	○
⑬	編集階表示	現在のフロアの名前を表示します	○

3-1-1 集計対象階を設定する

- 面積集計の対象とするフロアを設定します。
- 計算パターン毎に設定が可能です。
- デフォルトは全フロアが集計対象です。

・「集計対象階の設定」ダイアログ



番号	項目名	内容
①	全計算パターンで共通	チェック入れると、全計算パターンで共通の設定となります チェック外すと、選択中の計算パターンに対しての設定となります
②	チェック欄	集計対象のフロアにチェックを入れます
③	名前	フロアの名前を表示します

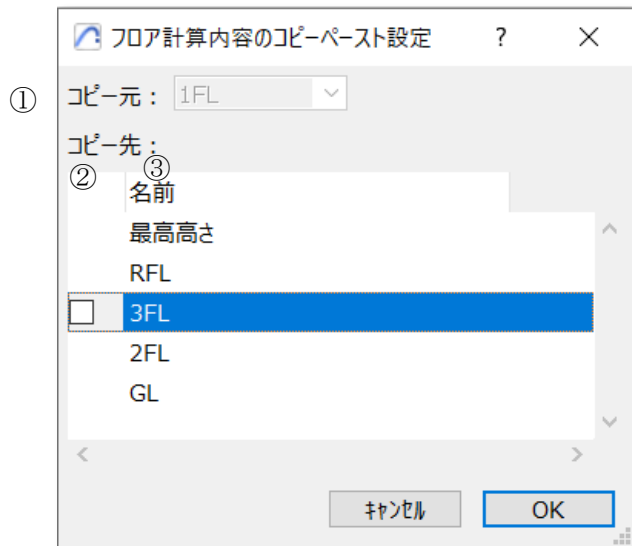
[操作手順]

- 1) 「集計対象階の設定」を選択します。
- 2) 「集計対象階の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 集計対象とするフロアにチェックを入れます。
- 4) 「OK」を選択します。

3-1-2 現在のフロアの計算内容の他のフロアにコピーする

- 現在のフロアの求積図形及び計算パターンへの割り当てを、別のフロアに一括コピーします。
- コピー後の各フロアでの求積図形・計算対象設定の修正内容は、当該フロアのみ反映されます。
- コピー先のフロアに求積図形が存在する場合は、コピー元の求積図形に置き換えます。

・「フロア計算内容のコピーペースト設定」ダイアログ



番号	項目名	内容
①	コピー元選択	コピー元のフロアを選択します
②	コピー先チェック欄	コピー先のフロアにチェックを入れます
③	名前	フロアの名前を表示します

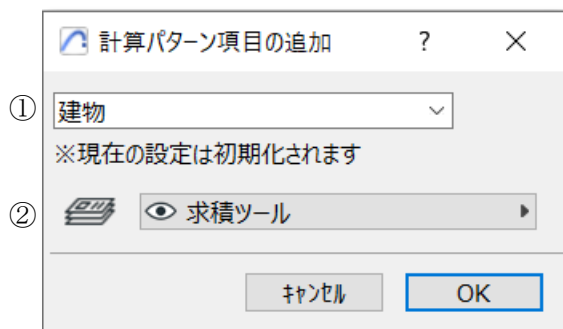
[操作手順]

- 1) 「フロア計算内容のコピーペースト設定」を選択します。
- 2) 「フロア計算内容のコピーペースト設定」ダイアログが開きます。
※コピー先に現在のフロアは表示しません。
- 3) コピー元フロアを選択します。
- 4) コピー先フロアにチェックを入れます。
- 5) 「OK」を選択します。

3-1-3 計算パターンを追加する

○ 環境設定で追加した計算パターンを現在のプロジェクトファイルに追加します。

・「計算パターン項目の追加」ダイアログ



番号	項目名	内容
①	計算パターン選択	追加する計算パターンを選択します
②	レイヤー選択	平面図で求積図を書き込むレイヤーを選択します ※ワークシートへの書き込みレイヤーは環境設定で設定します

[操作手順]

- 1) 「計算パターンの追加」を選択します。
- 2) 「計算パターン項目の追加」ダイアログが開きます。
- 3) 追加する計算パターンを選択します。
- 4) 書き込みレイヤーを選択します。
- 5) 「OK」を選択します。

3-1-4 計算パターンを複写する

○ 選択中の計算パターンをプルダウンメニューに複写します。

[操作手順]

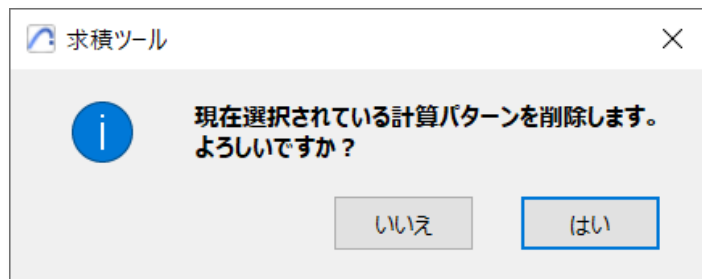
- 1) 複写する計算パターンを選択します。
- 2) 「計算パターンの複写」を選択します。

3-1-5 計算パターンを削除する

- 選択中の計算パターンをプルダウンメニューから削除します。

[操作手順]

- 1) 削除する計算パターンを選択します。
- 2) 確認ダイアログが開きます。



- 3) 「はい」を選択します。

3-1-6 計算パターンを選択する

- 複数の計算パターンがプルダウンメニューに登録されている場合に、計算パターンを選択します。
- 計算パターンの内容を変更した場合は、計算パターン名の先頭に「*」印が付きます。

3-1-7 端数処理パターンを選択する

- 複数の端数処理パターンが登録されている場合に、端数処理パターンを選択します。
- 端数処理パターンは「環境設定/端数処理」で設定します。

4 自動分割区画

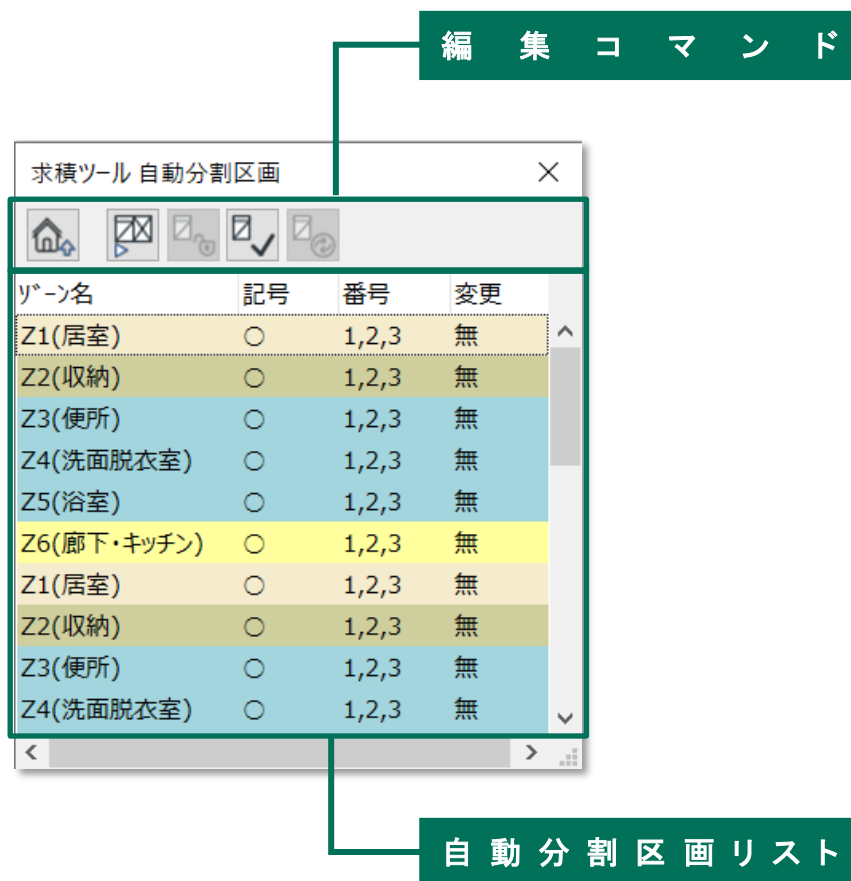
4-1 はじめに

- Archicad の要素を基に求積図形を自動的に生成します。
- 自動分割区画を自動生成できる Archicad の要素は以下の 4 種類です。

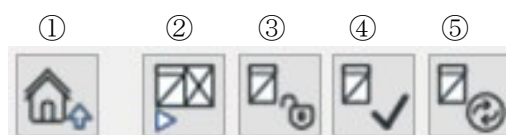


4-1-1 自動分割区画パレットについて

- 自動分割区画パレットは「編集コマンド」と「自動求積区画リスト」で構成されます。



4-2 編集コマンド

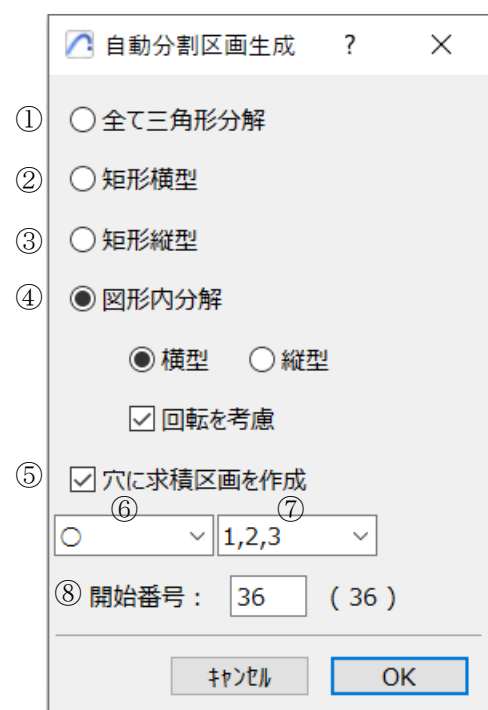


番号	項目名	内容	Light
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります	○
②	自動分割	自動分割区画を作成し、自動求積図形を自動生成します	○
③	自動分割区画解除	自動分割区画を解除します	○
④	更新チェック	自動分割区画の元ゾーンの変更の有無をチェックします	○
⑤	再作成	自動分割区画の元要素に変更がある場合に、自動分割区画を更新します	○

4-2-1 自動分割区画を自動生成する

○ 自動分割区画を自動生成し、自動求積図形を作成します。

・「自動分割区画生成」ダイアログ

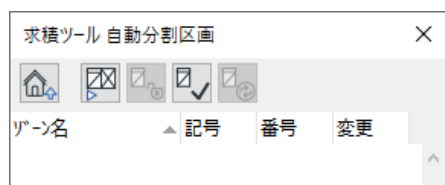
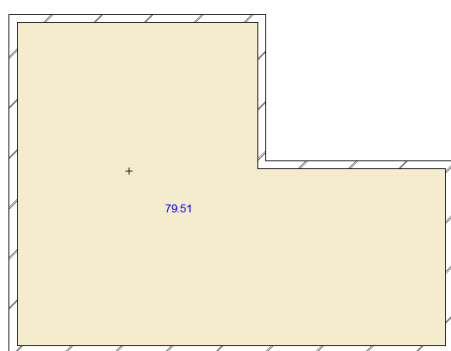


番号	項目名	内容	Light
①	全て三角形分解	全て三角形で自動分割区画を生成します	○
②	矩形横型	横方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を生成します	○
③	矩形縦型	縦方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を生成します	×

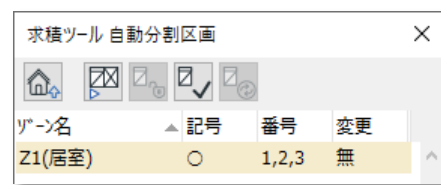
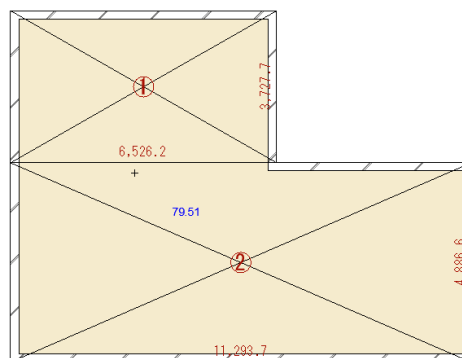
番号	項目名	内容	Light
④	図形内分解	不整形な要素に対して自動分割区画を生成します	×
		横型 横方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を生成します 不整形部分はそれぞれの形状単位で自動分割区画を生成します	
		縦型 縦方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を生成します 不整形部分はそれぞれの形状単位で自動分割区画を生成します	
		回転を考慮 Archicad の座標軸(X,Y)とは異なる要素の場合に、要素の軸を基準に縦横の自動分割区画を生成します	
⑤	穴に求積区画を作成	要素に穴がある場合に、マイナスの求積図形を作成します	×
⑥	記号	自動分割区画作成時の記号を選択します	○
⑦	番号	自動分割区画作成時の番号を選択します	○
⑧	開始番号	自動分割区画作成時の開始番号を設定します	○

[操作手順]

- 1) 自動分割区画を行う要素を選択します。
- 2) 「自動分割」を選択します。
- 3) 「自動分割区画生成」ダイアログが開きます。
- 4) 自動分割区画自動生成の種類を選択します。
- 5) 「記号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 6) 「番号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 7) 「開始番号設定」で開始番号を設定します。
- 8) 「OK」を選択します。

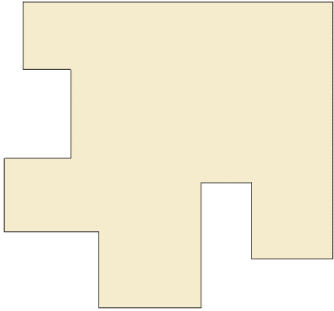
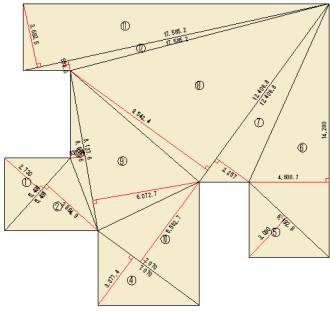
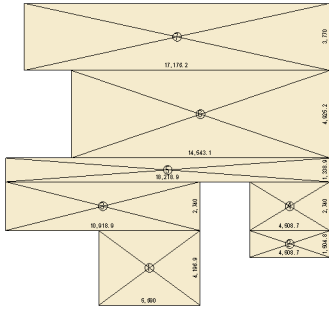
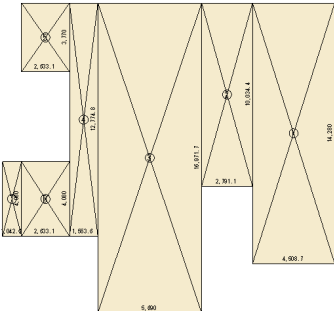
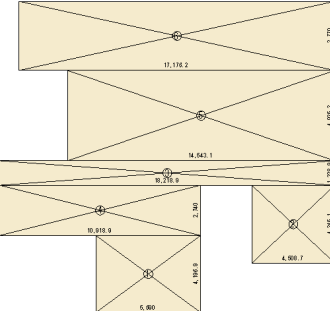
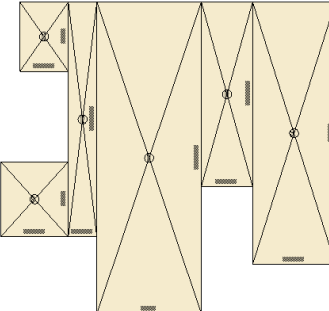
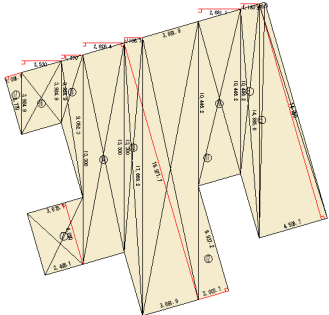
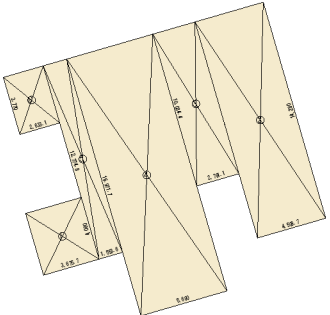
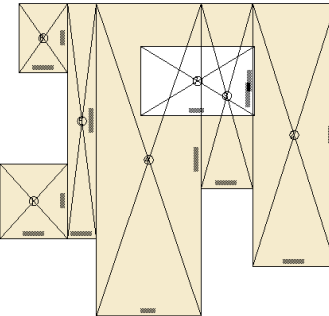


自動分割前



自動分割後

4-2-1-1 自動分割区画自動生成の種類について

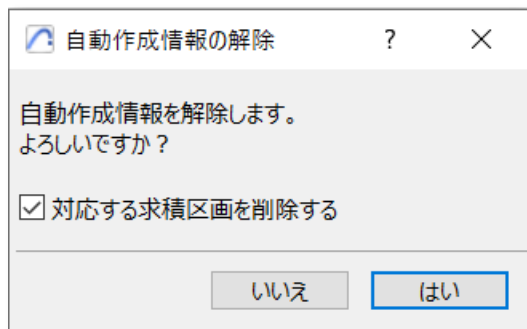
元図形	全て三角形分解	矩形横型
		
矩形縦型	図形内分解-横型	図形内分解-縦型
		
回転を考慮		穴に求積区画を作成
 回転を考慮しない場合	 回転を考慮する場合	

4-2-2 自動分割区画を解除する

- 自動分割区画を解除します。
- 自動求積図形の削除が可能です。

[操作手順]

- 1) 自動分割区画を解除する自動分割区画を平面図または自動分割区画リストより選択します。
- 2) 「自動作成情報の解除」ダイアログが開きます。



- 3) 自動求積図形を削除する場合は、「対応する求積区画を削除する」にチェックを入れます。
- 4) 「はい」を選択します。

4-2-3 自動分割区画の元ゾーンの更新をチェックする

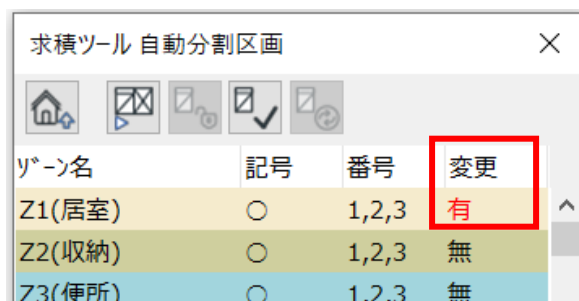
- 自動分割区画の元ゾーンの更新の有無をチェックします。
- 更新のチェックが必要なゾーンは、図形作成法が「内側」または「基準線」のゾーンです。
- 図形作成法が「手動」のゾーン、スラブ、塗りつぶし及びポリラインは自動で更新のチェックが行われます。

[操作手順]

- 1) 元ゾーンの更新の有無をチェックする自動分割区画を平面図または自動分割区画リストより選択します。
- 2) 「更新チェック」を選択します。
- 3) 自動分割区画の元ゾーンに更新がある場合、自動分割区画リストの「変更」欄に「有」と表示されます。

4-2-4 自動分割区画を更新する

- 自動分割区画の元の要素に変更がある場合に、自動分割区画を更新します。



[操作手順]

- 1) 更新する自動分割区画を平面図または自動分割区画リストより選択します。
- 2) 「再作成」を選択します。

4-3 自動分割区画リスト

- 自動分割区画をリスト表示します。
- リストと平面図の選択がリンクします。

①	②	③	④
ゾーン名	記号	番号	変更
Z1(居室)	○	1,2,3	無
Z2(収納)	○	1,2,3	無
Z3(便所)	○	1,2,3	無
Z4(洗面脱衣室)	○	1,2,3	無
Z5(浴室)	○	1,2,3	無
Z6(廊下・キッチン)	○	1,2,3	無
Z1(居室)	○	1,2,3	無
Z2(収納)	○	1,2,3	無
Z3(便所)	○	1,2,3	無
Z4(洗面脱衣室)	○	1,2,3	無

番号	項目名	内容	Light
①	ゾーン名	自動求積図形の元の要素の要素 ID を表示します ゾーンの場合はゾーン名を表示し、ゾーンカテゴリの色を反映します	○
②	記号	自動分割区画の記号タイプを表示します	○
③	番号	自動分割区画の番号タイプを表示します	○
④	変更	自動分割区画の元の要素の変更の有無を表示します	○

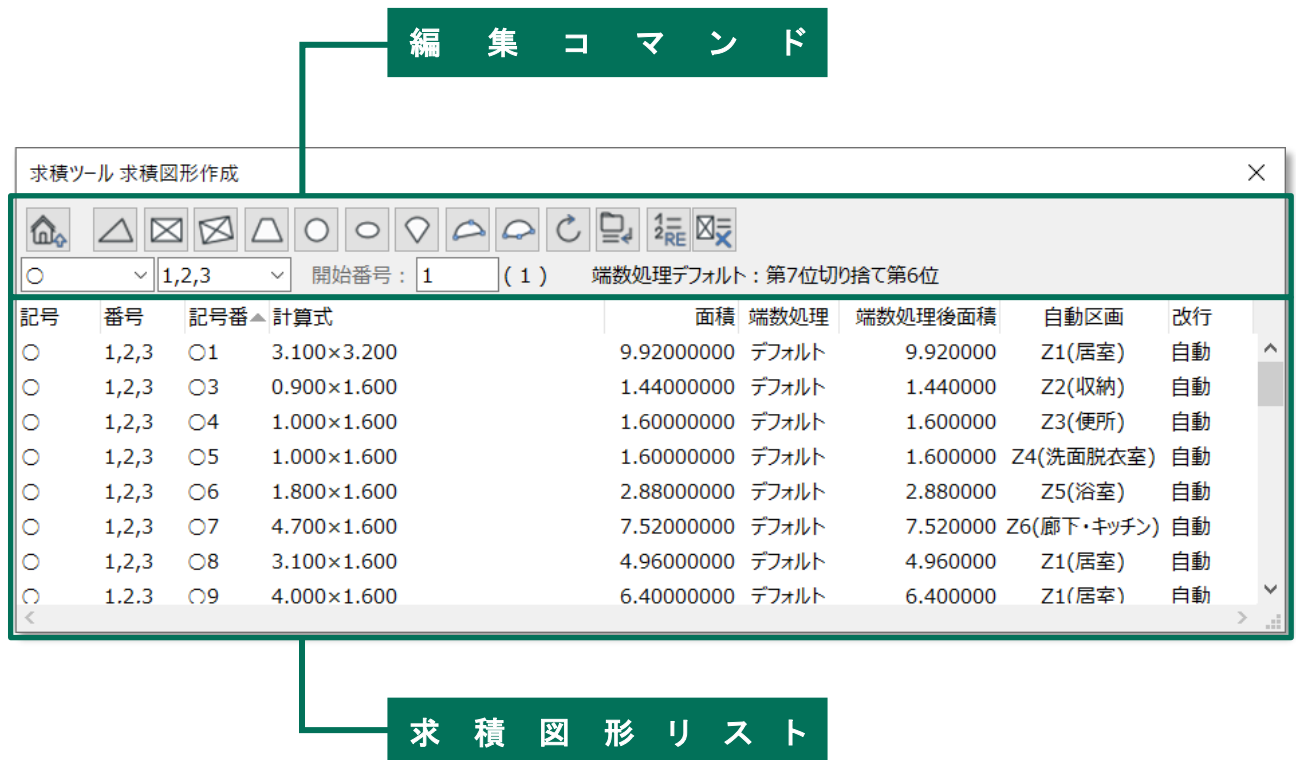
5 求積図形作成

5-1 はじめに

- 任意形状の求積図形を作成します。
- 自動求積図形及び任意求積図形の計算式の確認や端数処理を設定します。

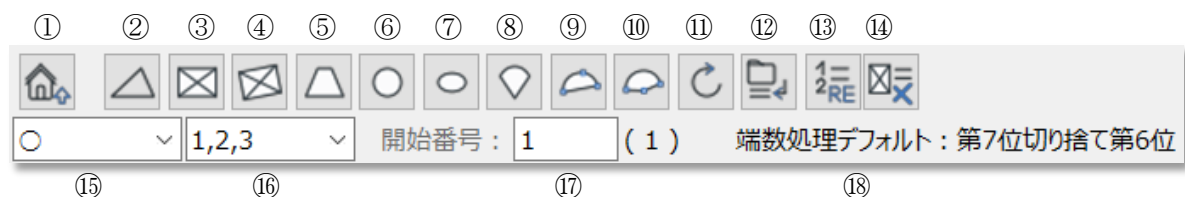
5-1-1 求積図形作成パレットについて

- 求積図形作成パレットは「編集コマンド」と「求積図形リスト」で構成されます。



5-2 編集コマンド

○ 任意求積図形の作成や、各種設定を行います。



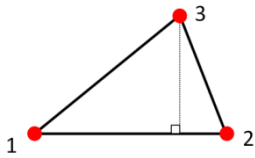
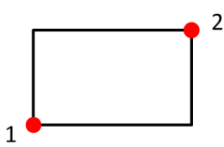
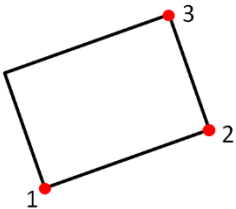
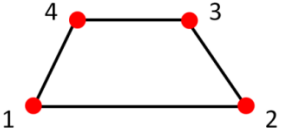
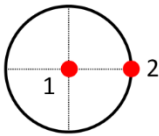
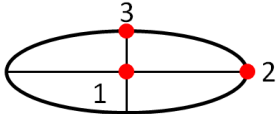
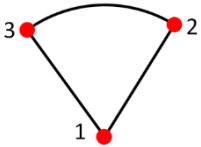
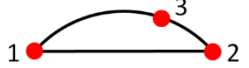
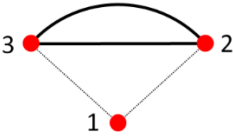
番号	項目名		内容	Light
①	メインパレットに戻る		メインパレットに戻ります	○
②	任意 求積 図形 作成	三角形	3 点指定により、三角形の任意求積図形を作成します	○
③		矩形	2 点指定により、矩形の任意求積図形を作成します	○
④		斜め矩形	3 点指定により、斜め矩形の任意求積図形を作成します	○
⑤		台形	3 点指定により、台形の任意求積図形を作成します	○
⑥		正円	2 点指定により、正円の任意求積図形を作成します	○
⑦		楕円	3 点指定により、楕円の任意求積図形を作成します	○
⑧		扇形	3 点指定により、扇型の任意求積図形を作成します	○
⑨		弓型 (3 点)	弧の 3 点指定により、弓型の任意求積図形を作成します	○
⑩		弓型 (中心)	中心を含む 3 点指定により、弓型任意求積図形を作成します	○
⑪	底辺回転		三角形及び台形の求積図形の高さの基準辺を切り替えます	○
⑫	改行編集		求積図形求積表における、計算式の改行を設定します	○
⑬	リナンバリング		表示中の求積図形の記号・番号をリナンバリングします	×
⑭	計算式と図形の削除		選択した求積図形を削除します	○
⑮	記号タイプ選択		任意求積図形作成時の記号タイプを選択します	○
⑯	番号タイプ選択		任意求積図形作成時の番号タイプを選択します	○
⑰	開始番号設定		任意求積図形作成時の開始番号を設定します	○
⑱	端数処理表示		選択中の端数処理パターンによる求積図形の端数処理を表示します	○

5-2-1 任意求積図形を作成する

[操作手順]

- 1) 「記号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 2) 「番号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 3) 「開始番号設定」で開始番号を設定します。
- 4) 「任意求積図形作成」選択します。
- 5) 選択した「任意求積図形作成」の指定点順序に従い、任意求積図形を作成します。
 ※選択した「任意求積図形作成」は連続で作成できます。
 ※操作を終了する場合は、右クリックメニューの「キャンセル」を選択するか「Esc キー」を選択します。

5-2-2 任意求積図形作成の指定点順序

図形種別	指定点順序	図形種別	指定点順序
三角形		矩形	
斜め矩形		台形	
正円		楕円	
扇型		弓型(3点)	
弓型(中心)			

5-3 求積図形リスト

- 自動求積図形及び任意求積図形をリスト表示します。
- 記号・番号や計算式、面積の確認、端数処理の設定をします。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
記号	番号	記号番▲	計算式	面積	端数処理	端数処理後面積	自動区画	改行
○	1,2,3	○1	3.100×3.200	9.92000000	デフォルト	9.920000	Z1(居室)	自動
○	1,2,3	○3	0.900×1.600	1.44000000	デフォルト	1.440000	Z2(収納)	自動
○	1,2,3	○4	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	Z3(便所)	自動
○	1,2,3	○5	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	Z4(洗面脱衣室)	自動
○	1,2,3	○6	1.800×1.600	2.88000000	デフォルト	2.880000	Z5(浴室)	自動
○	1,2,3	○7	4.700×1.600	7.52000000	デフォルト	7.520000	Z6(廊下・キッチン)	自動
○	1,2,3	○8	3.100×1.600	4.96000000	デフォルト	4.960000	Z1(居室)	自動

番号	項目名	内容	Light
①	記号	求積図形の記号タイプを選択します	○
②	番号	求積図形の番号タイプを選択します	○
③	記号番号	求積図形の記号・番号を表示します	○
④	計算式	求積図形の面積計算式を表示します	○
⑤	面積	求積図形の計算式による、端数処理前の面積を表示します	○
⑥	端数処理	求積図形の端数処理を選択します	○
⑦	端数処理後面積	求積図形の端数処理後の面積を表示します 端数処理がデフォルトと異なる場合、面積の先頭に「*」を表示します	○
⑧	自動区画	自動求積図形の場合、元の要素の要素 ID を表示します 任意求積図形の場合、空欄となります	○
⑨	改行	計算式の改行設定を選択します ※Light 版は「手動」で固定です	×

5-3-1 求積図形の順序を変更する

- 求積図形リストで求積図形をドラッグで移動することで、求積図形の順序を変更します。
- 順序変更後の番号は「環境設定/モード設定/図形番号編集のモード選択」で選択したモードによって異なります。

[操作手順]

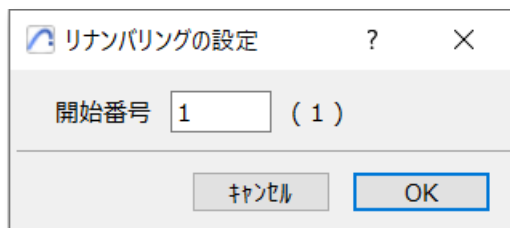
- 1) 求積図形リストより、順序を変更する求積図形を選択します。
※複数選択が可能です。
- 2) 求積図形リスト内で、選択した求積図形を変更する場所にドラッグします。

5-3-2 求積図形の番号をリナンバリングする

- 選択した求積図形のリナンバリングを行います。
- 番号を重複してリナンバリングすることはできません。

[操作手順]

- 1) 求積図形リストより、リナンバリングする求積図形を選択します。
※複数選択が可能です。通し番号でリナンバリングする場合、複数選択をします。
- 2) 「リナンバリング」を選択します。
- 3) 「リナンバリング」ダイアログが開きます。



- 4) リナンバリングの開始番号を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。
※番号が重複する場合、エラーダイアログが開きます。

6 面積表作成・編集

6-1 はじめに

- 計算パターンに自動分割区画または求積図形を割り当てます。
- 計算パターンの編集ができます。

6-1-1 面積表作成・編集パレットについて

- 面積表作成・編集パレットは「編集コマンド」、「計算パターンリスト」、「リスト切り替え」及び「各種リスト」で構成されます。

編集コマンド

リスト切り替え

求積ツール 面積表作成・編集

▼ 施工面積[0.00/0.00] 無VII
▼ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI
▼ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II
▼ 専有[0.00/0.00] 無I
 居室[0.00/0.00] □1
 非居室[0.00/0.00] □2
 収納[0.00/0.00] □3
▼ 容積対象外延べ面積対象[0.00/0.00] 無V
▼ バルコニー[0.00/0.00] 無III
 バルコニー[0.00/0.00] □4
▼ 共用廊下等[0.00/0.00] 無IV
 共用廊下[0.00/0.00] □5
 共用階段[0.00/0.00] □6

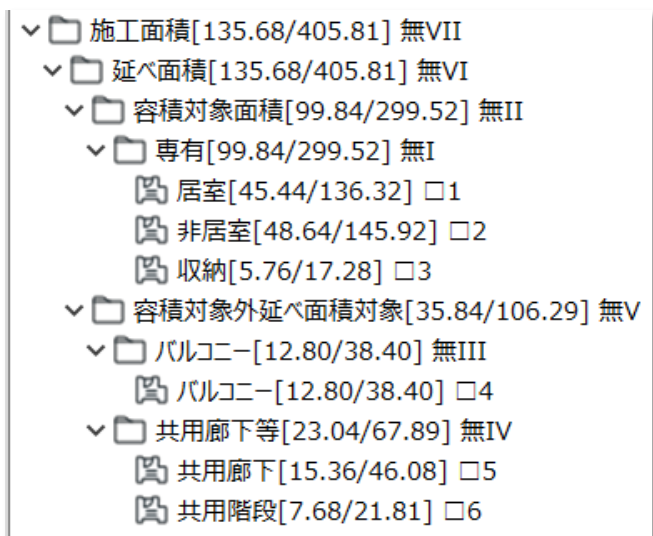
ゾーン名	ゾーンカテゴリ	レイヤー	割当先
Z1(居室)	住宅	ゾーン	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン	
Z3(便所)	住宅-6	ゾーン	
Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン	
Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン	
Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン	
Z1(居室)	住宅	ゾーン	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン	
Z3(便所)	住宅-6	ゾーン	
Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン	
Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン	
Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン	
Z1(居室)	住宅	ゾーン	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン	

計算パターンリスト

各種リスト

6-2 計算パターンリスト

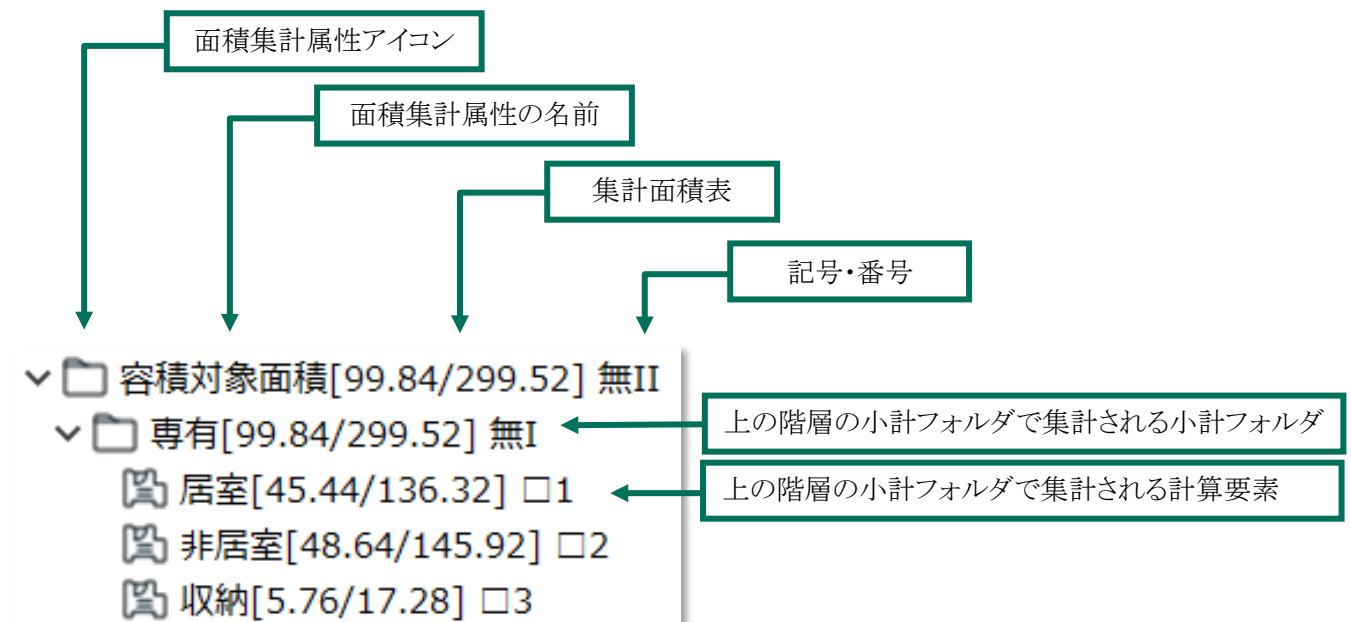
○計算パターンの表示及び編集をします。



6-2-1 計算パターンリストの見方

6-2-1-1 面積集計属性について

○面積集計属性は「面積集計属性アイコン」+「面積集計属性の名前」+「集計面積」で表示されます。



6-2-1-2 面積集計属性アイコンについて

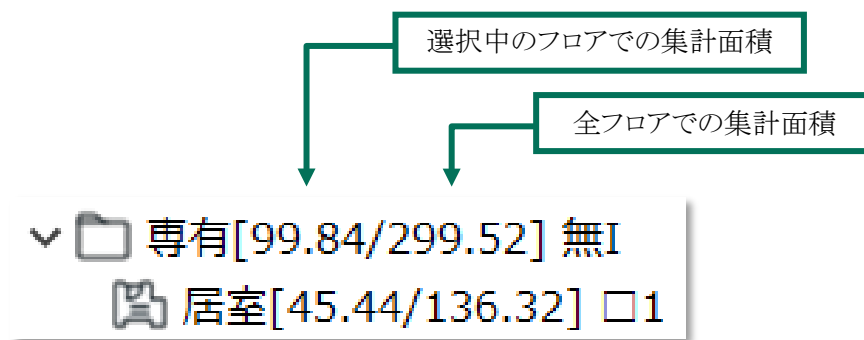
○面積集計属性の種類をアイコンで表示します。

表示項目	アイコン	概要
小計フォルダ		小計フォルダです
計算要素		集計面積タイプが「求積図形」の計算要素です
		集計面積タイプが「自動分割区画」の計算要素です
		集計面積タイプが「自動分割区画+求積図形」の計算要素です
		集計面積タイプが「任意入力」の計算要素です

6-2-1-3 集計面積表示について

○面積集計属性の集計面積を名前の後に表示します。

○「[選択中のフロアでの集計面積/全フロアでの集計面積]」を表示します。



6-3 編集コマンド

・小計フォルダを選択した場合



・計算要素を選択した場合



番号	項目名	内容	Light
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります	○
②	面積集計属性追加	面積集計属性を追加します	○
③	小計フォルダ複製	選択した小計フォルダを複製します	○
④	面積集計属性削除	選択した面積集計属性を削除します	○
⑤	面積集計属性編集	選択した面積集計属性の名前や端数処理を編集します	○
⑥	面積集計属性を元に戻す	面積集計属性の各種操作を元に戻します	×
⑦	改行編集	選択した面積集計属性の計算式の改行を編集します	○
⑧	表示項目編集	計算パターンリストの表示項目を編集します	×

6-3-1 面積集計属性を追加する

・「計算パターン項目の追加」ダイアログ

① タイプ
☐ 計算要素
☐ 小計フォルダ

② 端数処理
建物全体面積集計：未定義 小数点第0位
用途別面積集計：未定義 小数点第0位

③ 要素名・小計名：

キャンセル OK

番号	項目名	内容	Light
①	タイプ	追加する面積集計属性のタイプを選択します	☐
②	端数処理	追加する面積集計属性の端数処理及び端数表示桁数を選択します	☐
		建物全体面積集計 建物求積表に反映されます	☐
		用途別面積集計 フロア別求積表に反映されます	☐
③	要素名・小計名	面積集計属性の名前を設定します	☐

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、小計フォルダを選択します。
- 2) 「面積集計属性追加」を選択します。
- 3) 「計算パターン項目の追加」ダイアログが開きます。
- 4) 「タイプ」を選択します。
- 5) 「端数処理」を選択します。
- 6) 「要素名・小計名」を設定します。
- 7) 「OK」を選択します。
- 8) 選択した小計フォルダの下層に面積集計属性が追加されます。

6-3-2 小計フォルダを複製する

- 選択した小計フォルダを同一階層に複製します。
- 選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複製します。

[操作手順]

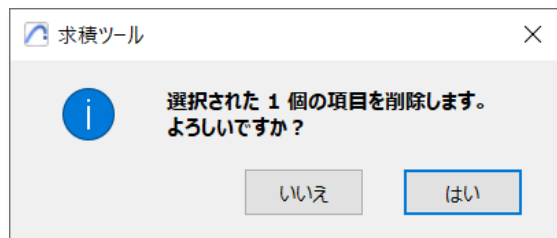
- 1) 計算パターンリストより、複製する小計フォルダを選択します。
- 2) 「小計フォルダ複製」を選択します。
- 3) 選択した小計フォルダと同一の階層に小計フォルダが複製されます。

6-3-3 面積集計属性を削除する

- 選択した面積集計属性を削除します。
- 最上層の小計フォルダは削除できません。

[操作手順]

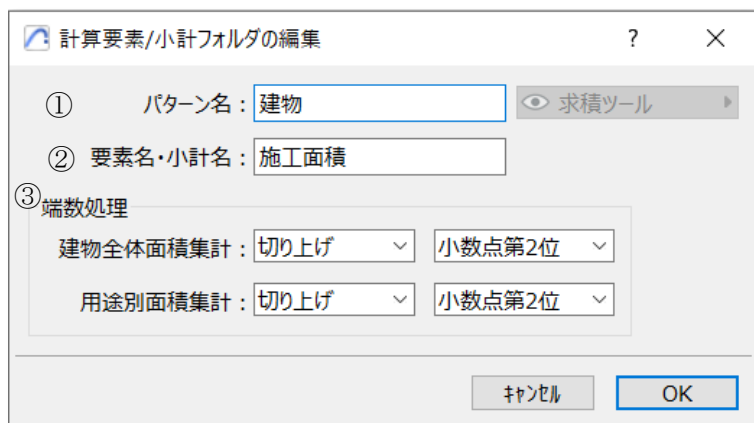
- 1) 計算パターンリストより、削除する面積集計属性を選択します。
- 2) 「面積集計属性削除」を選択します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



- 4) 「はい」を選択します。

6-3-4 小計フォルダを編集する

・「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログ



X

番号	項目名	内容	Light
①	パターン名	計算パターンの名前を設定します 最上層の小計フォルダを選択した場合のみ有効です	×
②	要素名・小計名	選択した小計フォルダの名前を設定します	○
③	端数処理	選択した小計フォルダの端数処理及び端数表示桁数を選択します	○
		建物全体面積集計 建物求積表に反映されます	
		用途別面積集計 フロア別求積表に反映されます	

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 「面積集計属性編集」を選択します。
- 3) 「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

6-3-5 計算要素を編集する

・「計算要素の編集」ダイアログ

番号	項目名	内容	Light
①	計算要素名	計算要素の名前を設定します	○
②	端数処理	選択した計算要素の端数処理及び端数表示桁数を選択します	○
		建物全体面積集計 建物求積表に反映されます	
		用途別面積集計 フロア別求積表に反映されます	
③	集計面積	割り当て可能な面積集計要素を選択します フロア毎に設定が可能です ※Light 版は求積区画で固定です	△
		求積図形 求積図形のみ割り当てが可能です	○
		自動分割区画 自動分割区画のみ割り当てが可能です	×
		自動分割区画 +求積図形 自動分割区画及び求積図形の割り当てが可能です	×
		任意入力 計算式及び面積を任意設定します	×

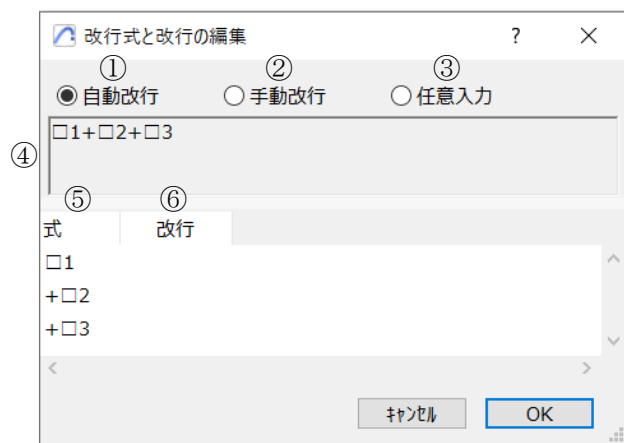
[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、編集する計算要素を選択します。
- 2) 「面積集計属性編集」を選択します。
- 3) 「計算要素の編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

6-3-6 小計フォルダの計算式を改行する

- 小計フォルダの計算式の改行を編集します。
- 小計フォルダ求積表に反映されます。
- ※ 2 以上の面積集計属性が含まれている場合に設定可能です。
- ※ 小計フォルダ求積表の種類が「計算式集計」の場合に設定可能です。

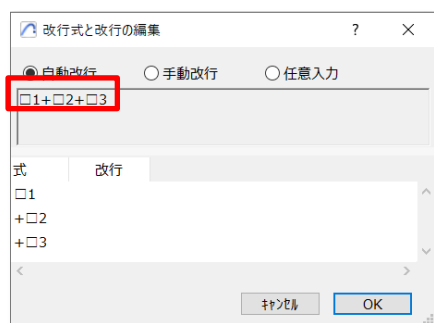
・「改行式と改行の編集」ダイアログ



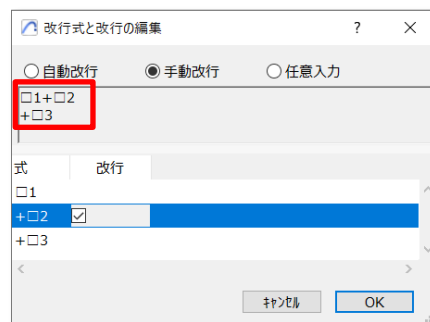
番号	項目名	内容	Light
①	自動改行	求積表の列幅に合わせて自動で改行します	×
②	手動改行	計算式内の任意の位置で改行します	○
③	任意入力	計算式に任意の文字列を表示します	×
④	計算式プレビュー	計算式をプレビュー表示します	○
⑤	式	計算式の符号及び記号・番号を表示します	○
⑥	改行	手動改行を選択した場合に、改行する位置にチェックを入れます	○

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、改行を編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 「改行編集」を選択します。
- 3) 「改行式と改行の編集」ダイアログが開きます。
- 4) 改行方法を選択します。
- 5) 必要に応じて設定を行います。
- 6) 「OK」を選択します。



改行編集前



改行編集後

6-3-6-1 任意入力で記号・番号を使用する場合

○ 指定の文字列を入力し、末尾に#記号を入力します。

指定文字列	システム表示	入力例
○	1 重○	○1#～○10#
□	1 重□	□1#～□10#
◇	1 重◇	◇1#～◇10#
◎	2 重○	◎1#～◎10#
■	2 重□	■1#～■10#
◆	2 重◇	◆1#～◆10#
無	記号無	無 1#～無 10#

6-3-7 計算要素の計算式を改行する

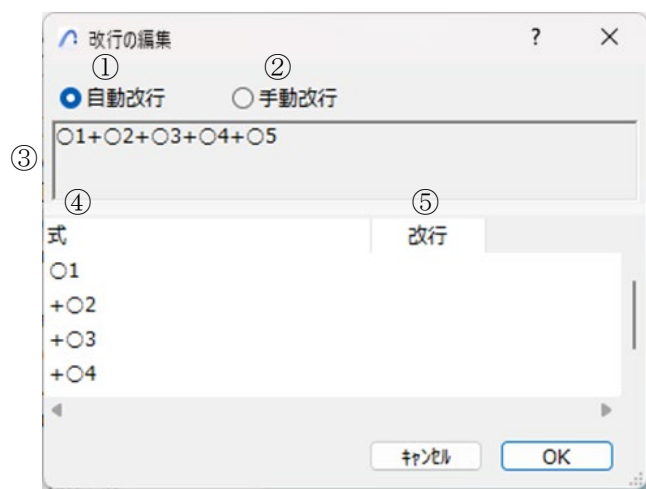
○ 計算の計算式の改行を編集します。

○ 計算要素求積表に反映されます。

※ 2 以上の求積図形が割り当てられている場合に設定可能です。

※ 計算要素求積表の種類が「計算式集計」の場合に設定可能です。

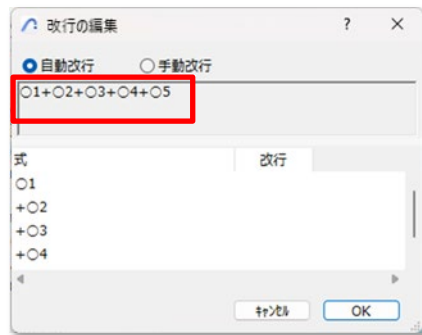
・「改行の編集」ダイアログ



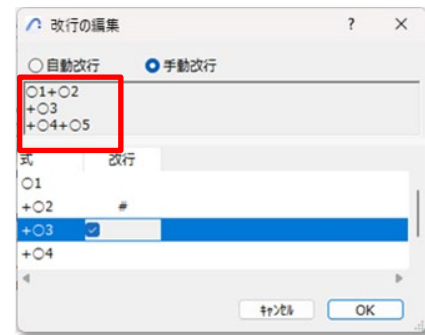
番号	項目名	内容	Light
①	自動改行	求積表の列幅に合わせて自動で改行します	×
②	手動改行	計算式内の任意の位置で改行します	○
③	計算式プレビュー	計算式をプレビュー表示します	○
④	式	計算式の符号及び記号・番号を表示します	○
⑤	改行	手動改行を選択した場合に、改行する位置にチェックを入れます	○

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストで改行を編集する計算要素を選択します。
- 2) 「改行の編集」を選択します。
- 3) 「改行の編集」ダイアログが開きます。
- 4) 改行方法を選択します。
- 5) 必要に応じて設定を行います。
- 6) 「OK」を選択します。



改行編集前

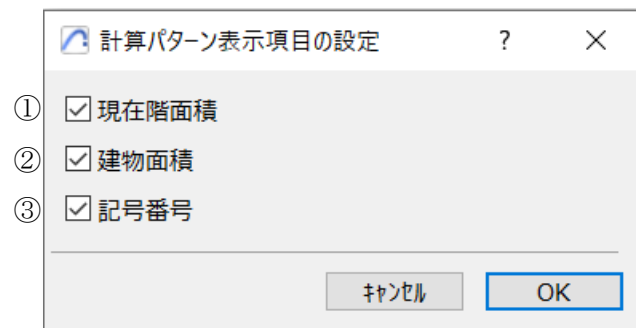


改行編集後

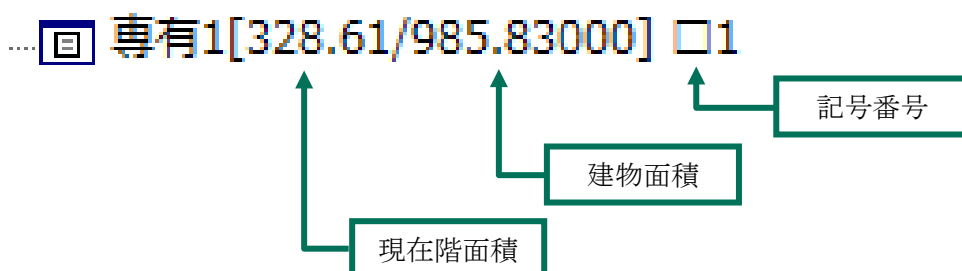
6-3-8 計算パターンリストの表示項目を設定する

- 計算パターンリストの表示項目を設定します。

・「計算パターン表示項目の設定」ダイアログ



番号	項目名	内容	Light
①	現在階面積	チェックを入れると、選択中のフロアの面積を表示します	○
②	建物面積	チェックを入れると、全てのフロアの合計面積を表示します	○
③	記号番号	チェックを入れると、面積集計属性の記号・番号を表示します	○



6-4 リスト切り替え・各種リスト

- 各種リストを切り替えます。

6-4-1 自動分割区画リスト

- 自動分割区画を計算要素に割り当てます。
- Light 版では選択できません。



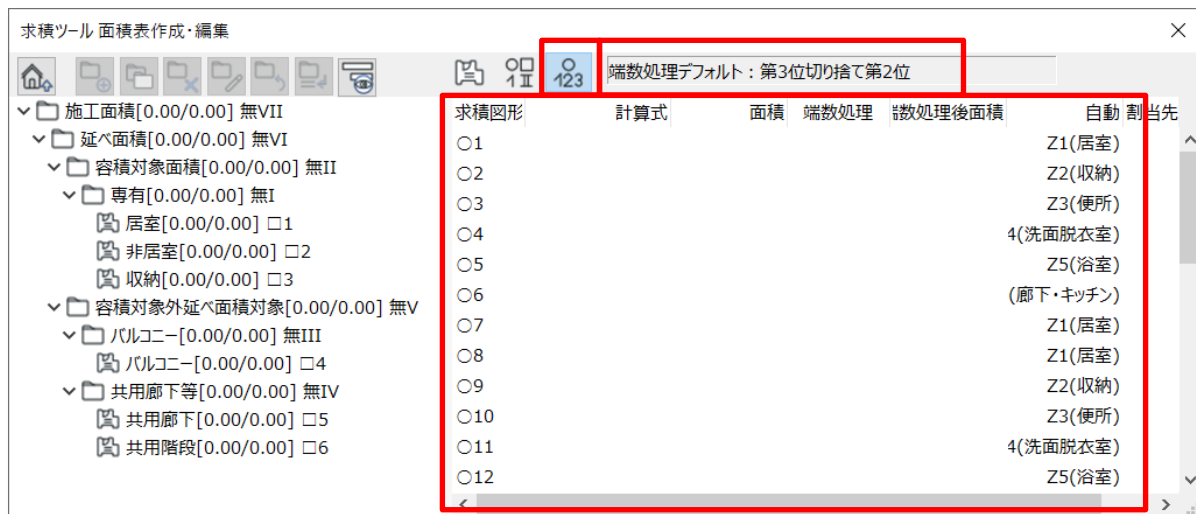
6-4-2 計算要素リスト

- 計算パターンリストの面積集計属性の詳細を表示します。
- 一部の設定は計算要素リストからの変更が可能です。
- 選択すると、「表示項目を編集します」がリスト切り替えに追加されます。



6-4-3 求積図形リスト

- 求積図形を計算要素に割り当てます。
- 選択すると、「端数処理デフォルト」が表示します。
- 「端数処理デフォルト」は「環境設定/端数処理/図形 List」で設定します。



6-5 自動分割区画リスト

① ゾーン名	② ゾーンカテゴリ	③ レイヤー	④ 割当先	⑤
Z1(居室)	住宅	ゾーン	居室	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン	収納	
Z3(便所)	住宅-6	ゾーン	非居室	
Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン	非居室	
Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン	非居室	
Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン	非居室	
Z1(居室)	住宅	ゾーン	居室	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン	収納	
Z3(便所)	住宅-6	ゾーン	非居室	

番号	項目名	内容	Light
①	ゾーン名	自動分割区画の元の要素の要素 ID を表示します	×
②	ゾーンカテゴリ	自動分割区画の元の要素がゾーンの場合、ゾーンカテゴリを表示します	×
③	レイヤー	自動分割区画の元の要素のレイヤーを表示します	×
④	割当先	自動分割区画を割り当てた計算要素名を表示します	×
⑤	割当先を編集	自動分割区画を割り当てる計算要素を選択します	×

6-5-1 自動分割区画を割り当てる

○ 集計面積が「自動分割区画」または「自動分割区画+求積図形」の計算要素に割り当てることができます。

自動分割区画 →  専有1[0.000000/0.00000] □1

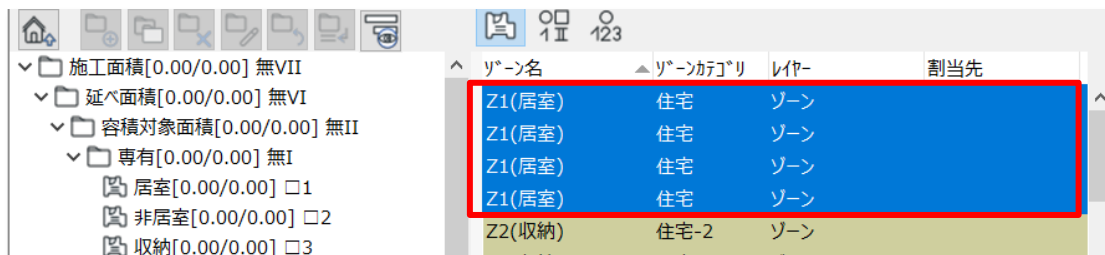
自動分割区画+求積図形 →  専有2[0.000000/0.00000] □2

6-5-1-1 ドラッグアンドドロップで割り当てる

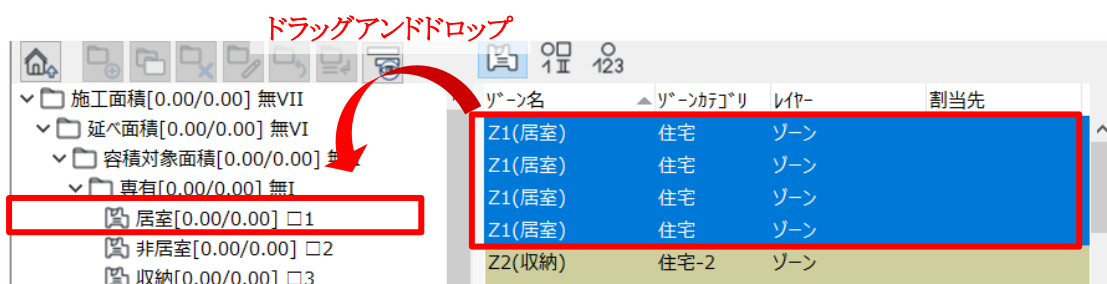
[操作手順]

- 1) 割り当てを行う自動分割区画を選択します。

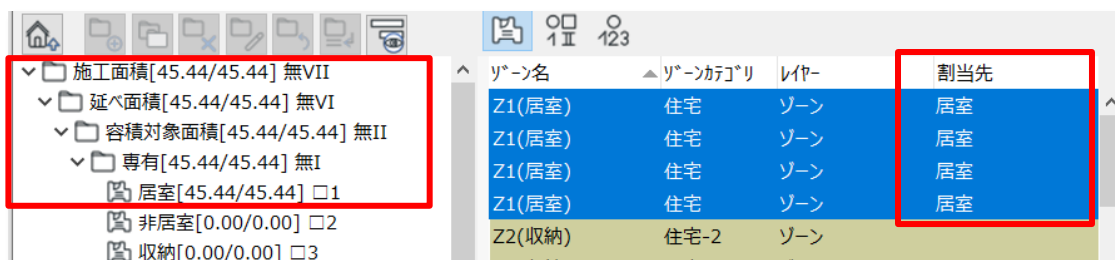
※複数選択が可能です。



- 2) 選択した自動分割区画を計算パターンリストにドラッグして、割り当てる計算要素の上でドロップします。



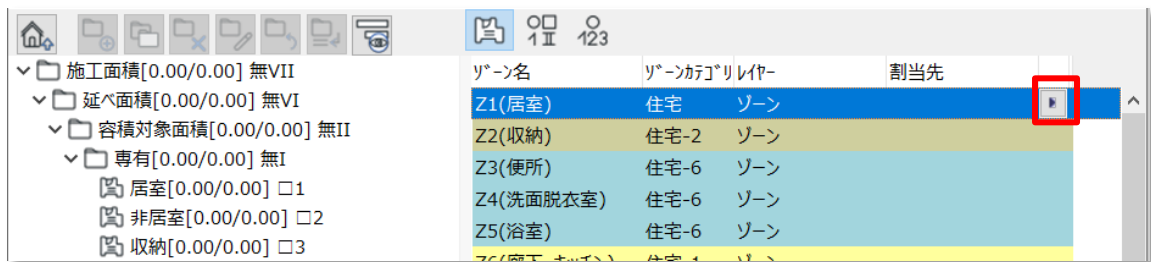
- 3) 選択した計算要素で集計が行われ、「接続先」に割り当てた計算要素が表示されます。



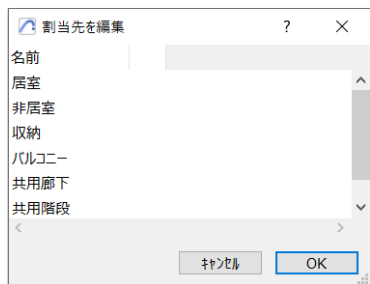
6-5-1-2 計算要素を選択して割り当てる

[操作手順]

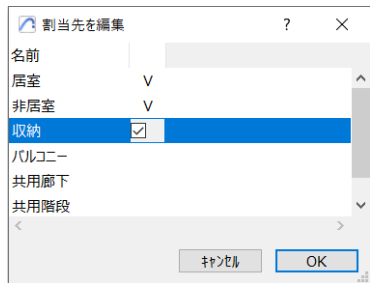
- 1) 割り当てを行う自動分割区画を選択します。
※複数選択はできません。
- 2) 「割当先を編集」を選択します。



- 3) 「割当先を編集」ダイアログが開きます。



- 4) 選択した自動分割区画を割り当てる計算要素にチェックを入れます。
※複数の計算要素を選択できます。



- 5) 「OK」を選択します。
- 6) 選択した計算要素で集計が行われ、「接続先」に割り当てた計算要素が表示されます。



6-6 計算要素リスト

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
記号	番号	記号番号	符号	名前(階)	種類	集計面積	計算式	丸目処理(建物)	丸目桁数(建物)	丸目処理(各階)	丸目桁数(各階)	改行	面積	端数処理	端数処理後面積	合計欄表示	色
□	1,2,3	□1	+	居室	計算...計	自動...画		切り上げ	小数点第2位	切り上げ	小数...2位	自動	0.00	デフォルト	0.00	表示...有)	必
□	1,2,3	□2	+	非居室	計算式集計	自動分割区画		切り上げ	小数点第2位	切り上げ	小数点第2位	自動	0.00	デフォルト	0.00	表示(記号有)	
□	1,2,3	□3	+	収納	計算式集計	自動分割区画		切り上げ	小数点第2位	切り上げ	小数点第2位	自動	0.00	デフォルト	0.00	表示(記号有)	
無	I,II,III	無I	+	専有	計算式集計			切り上げ	小数点第2位	切り上げ	小数点第2位	自動	0.00	デフォルト	0.00		

番号	項目名	内容	Light
①	記号	面積集計属性の記号タイプを選択します	○
②	番号	面積集計属性の番号タイプを選択します	○
③	記号番号	面積集計属性の記号・番号を表示します	○
④	符号	面積集計属性の符号を選択します	○
⑤	名前(階)	小計フォルダ求積表または計算要素求積表の名前を設定します 設定した名前は選択中のフロアでのみ有効です	×
⑥	種類	小計フォルダ求積表または計算要素求積表の計算式表示の種類を選択します	×
		計算式集計	
		一覧表集計	
⑦	集計面積	計算要素の集計面積のタイプを選択します	×
		求積区画	
		自動分割区画	
		自動+求積	
		手動入力	
⑧	計算式	計算要素の計算式を表示します	○
⑨	丸目処理(建物)	建物求積表の端数処理を選択します ※「未定義」及び「デフォルト」は選択できません	○
⑩	丸目桁数(建物)	建物求積表の端数表示桁数を選択します	○
⑪	丸目処理(各階)	小計フォルダ求積表または計算要素求積表の端数処理を選択します ※「未定義」及び「デフォルト」は選択できません	○
⑫	丸目桁数(各階)	小計フォルダ求積表または計算要素求積表の端数表示桁数を選択します	○
⑬	改行	計算式の改行方法を選択します	×
		自動	
		手動	
⑭	面積	面積集計属性の計算式における面積を表示します	○
⑮	端数処理	面積集計属性の端数処理を選択します ※「未定義」は選択できません	○
⑯	端数処理後面積	面積集計属性小計フォルダ求積表または計算要素求積表の合計欄における端数処理後の面積を表示します	○
⑰	合計欄表示	チェックを入れると、小計フォルダ求積表または計算要素求積表に合計欄を表示します	○
⑱	色	小計フォルダ求積表または計算要素求積表及び割り当てた求積図形のペン番号を選択します	×

6-6-1 計算式表示の種類

○「計算式集計」と「一覧表集計」を選択できます。

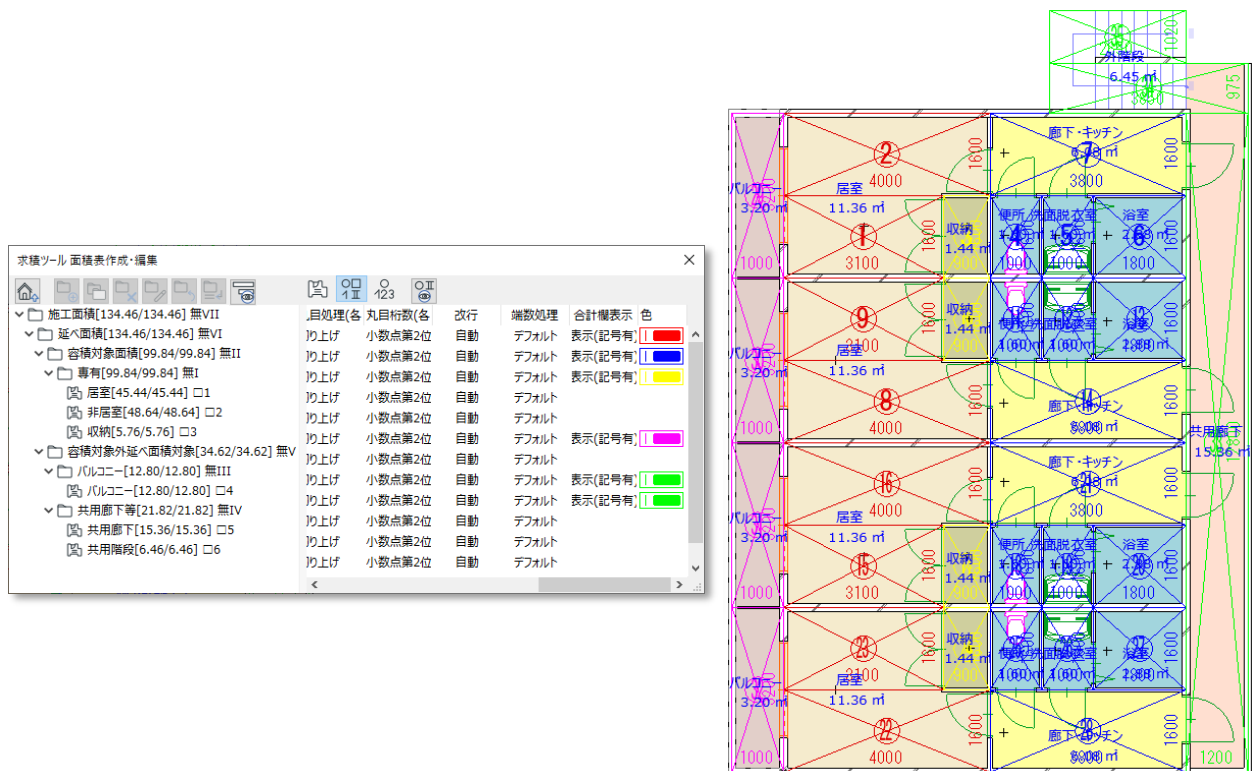
・計算式集計

居室		
記号	計算式	面積
①	①+②+③+⑨+⑩+⑯+⑰+⑳+㉔	44.81
	合計	44.81

・一覧表集計

居室		
記号	計算式	面積
①	$(3.2388 + 2.980) \times 1.3111 \div 2$	4.07
②	$(3.880 + 3.2388) \times 0.2588 \div 2$	0.92
③	3.880×1.480	5.74
⑨	4.000×1.600	6.40
⑩	3.100×1.600	4.96
⑯	3.100×1.600	4.96
⑰	4.000×1.600	6.40
⑳	4.000×1.600	6.40
㉔	3.100×1.600	4.96
①	合計	44.81
	合計	44.81

- 小計フォルダ求積表または計算要素求積表及び割り当てた求積図形のペン番号を選択します。
- 求積図形は記号・番号での設定に関わらず、選択したペン番号で上書きします。
- 複数の計算要素に割り当てた求積図形は色を反映しません。
- 平面図及びワークシートに反映されます。

[illegible]

6-6-3 計算要素リストの表示項目を設定する

○ 計算要素リストの表示項目を設定します。

・「表示項目の設定」ダイアログ



番号	項目名	内容	Light
①	名前	計算要素リストの項目の名前を表示します	☐
②	チェック欄	チェックを入れると、計算要素リストに項目を表示します	☐

[操作手順]

- 1) 「表示項目を編集します」を選択します。
- 2) 「表示項目の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 計算要素リストに表示する項目にチェックをいれます。
- 4) 「OK」を選択します。

6-7 求積図形リスト

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
求積図形	計算式	面積	端数処理	端数処理後面積	自動	割当先
○1						Z1(居室) 居室
○2						Z1(居室) 居室
○3						Z2(収納) 収納
○4						Z3(便所) 非居室
○5						Z4(洗面脱衣室) 非居室
○6						Z5(浴室) 非居室
○7						Z6(廊下・キッチン) 非居室

番号	項目名	内容	Light
①	求積図形	求積図形の記号・番号を表示します	○
②	計算式	求積図形の計算式を選択します	○
		未定義	
		+	
		-	
③	面積	求積図形の端数処理前の面積を表示します	○
④	端数処理	求積図形の端数処理を選択します	○
⑤	端数処理後面積	求積図形の端数処理後の面積を表示します	○
		端数処理がデフォルトと異なる場合、面積の先頭に「*」を表示します	
⑥	自動	自動求積図形の場合に、元の要素の要素 ID を表示します	○
⑦	割当先	求積図形を割り当てた計算要素名を表示します	○

6-7-1 求積図形を割り当てる

○ 集計面積が「求積図形」または「自動分割区画+求積図形」の計算要素に割り当てることができます。

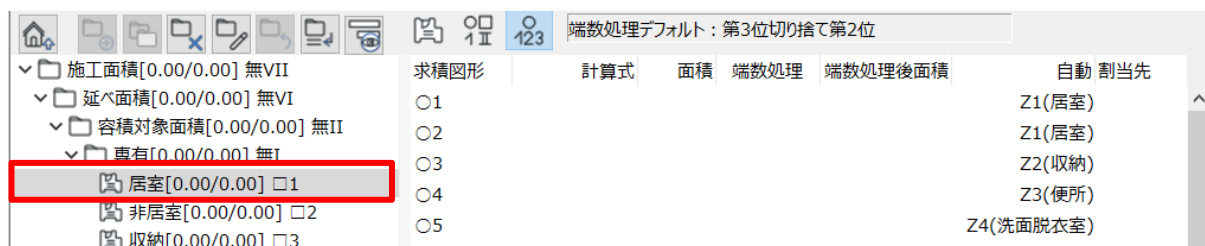
求積図形 →  専有1[0.00000/0.0000] □1

自動分割区画+求積図形 →  専有2[0.00000/0.0000] □2

6-7-1-1 計算式を選択して割り当てる

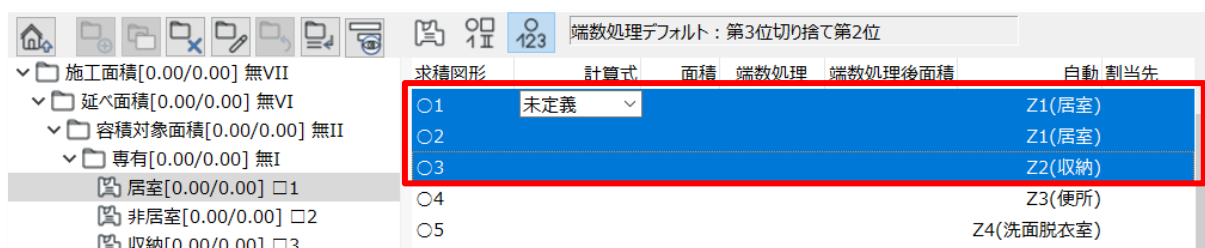
[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、求積図形を割り当てる計算要素を選択します。

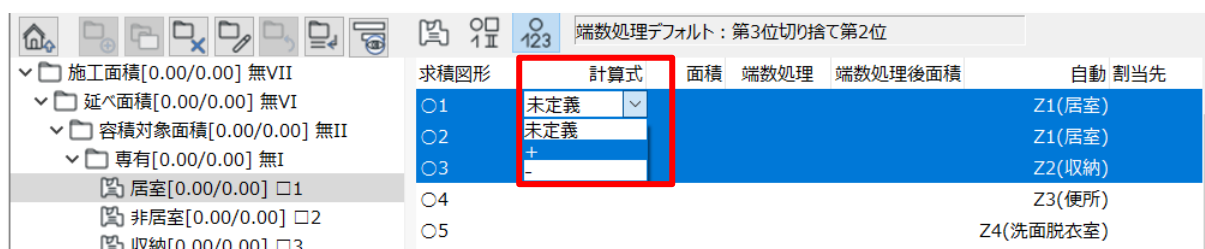


- 2) 割り当てを行う求積図形を選択します。

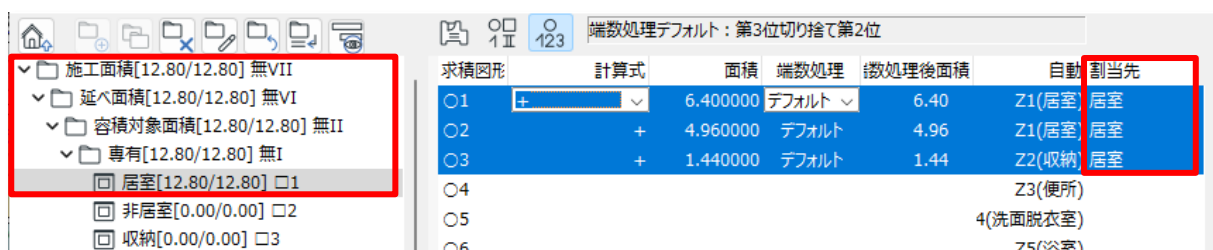
※複数選択が可能です。



- 3) 「計算式」プルダウンメニューより「+」または「-」を選択します。



- 4) 選択した計算要素で集計が行われ、「割当先」に割り当てた計算要素が表示されます。

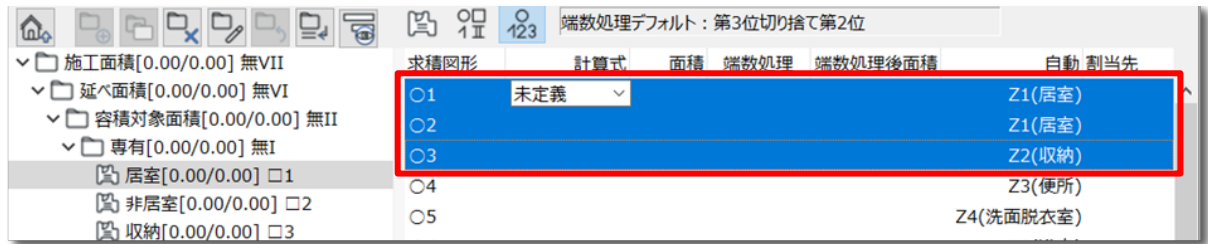


6-7-1-2 ドラッグアンドドロップで割り当てる

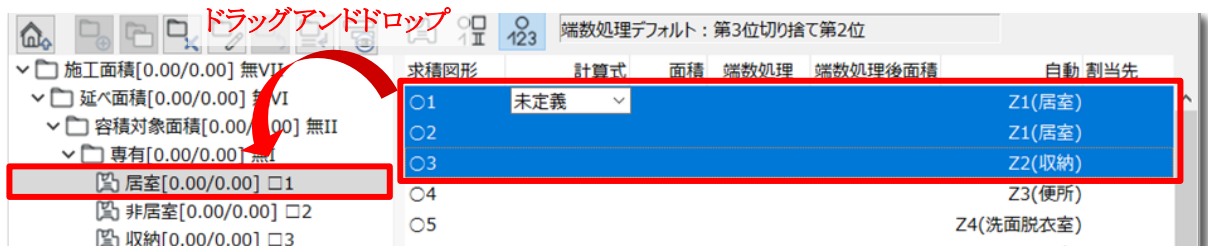
[操作手順]

- 1) 割り当てを行う求積図形を選択します。

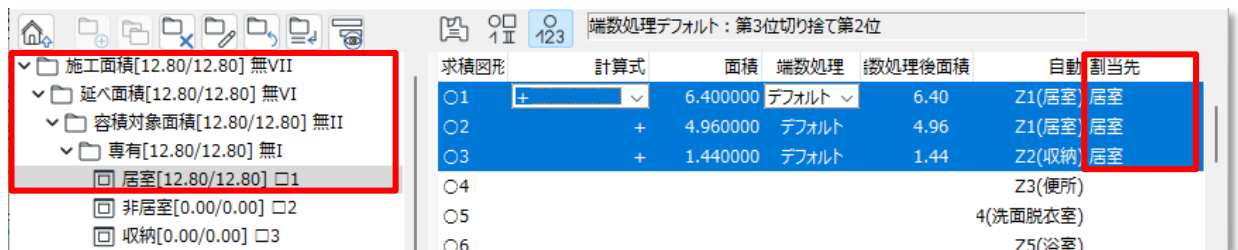
※複数選択が可能です。



- 2) 選択した求積図形を計算パターンリストにドラッグして、割り当てる計算要素の上でドロップします。



- 3) 選択した計算要素で集計が行われ、「割当先」に割り当てた計算要素が表示されます。



6-8 プランに変更がある場合

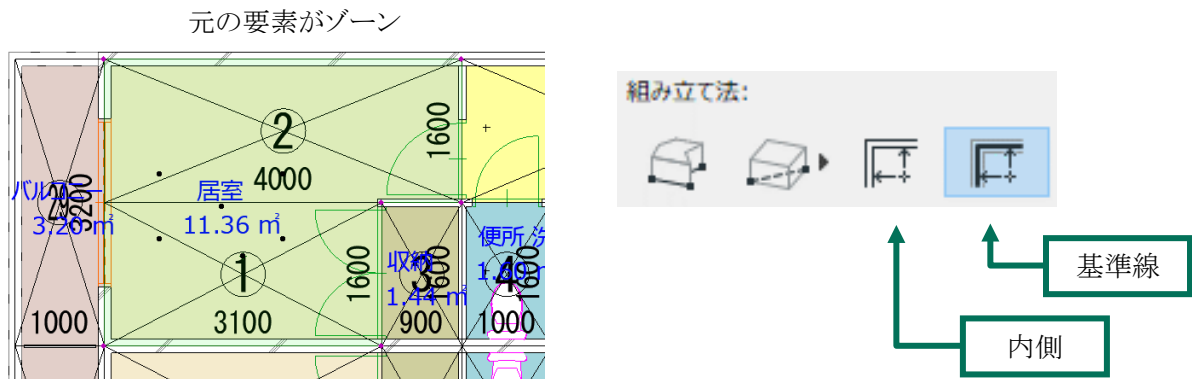
○ プランに変更がある場合、「自動求積区画」または「任意求積図形」のどちらかによって操作が異なります。

6-8-1 自動求積区画を更新する

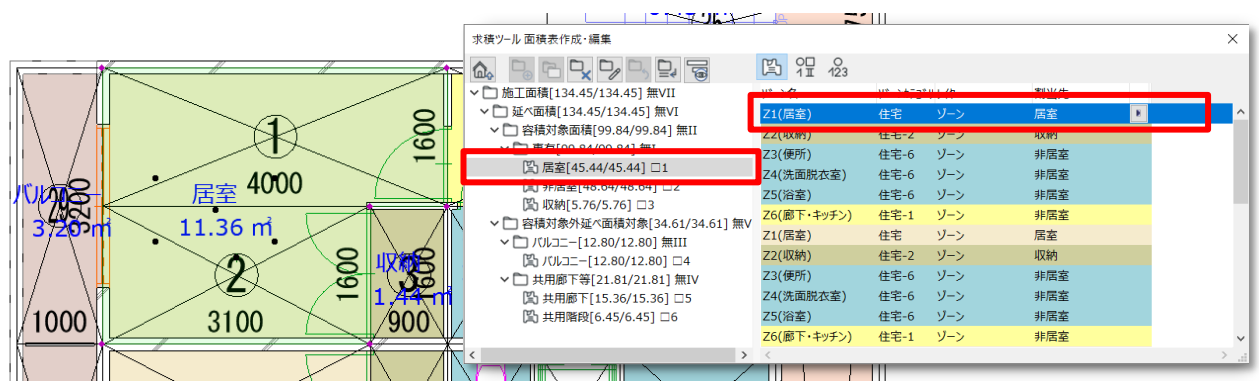
○ 「自動求積区画」の更新は、元の要素及びゾーンの作成方法によって操作が異なります。

6-8-1-1 組み立て法が「内側」または「基準線」のゾーンの場合

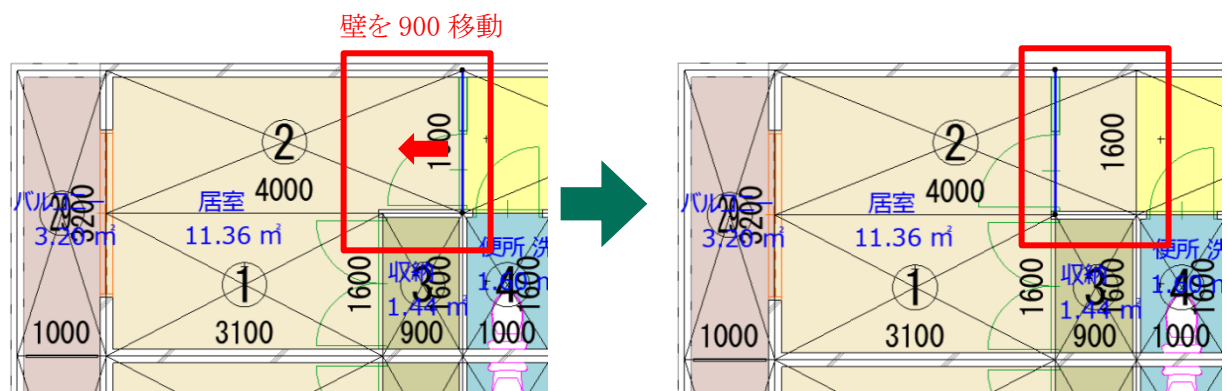
○ 元の要素がゾーンで組み立て法が「内側」または「基準線」の場合、ゾーンの更新を行います。



・変更前の面積

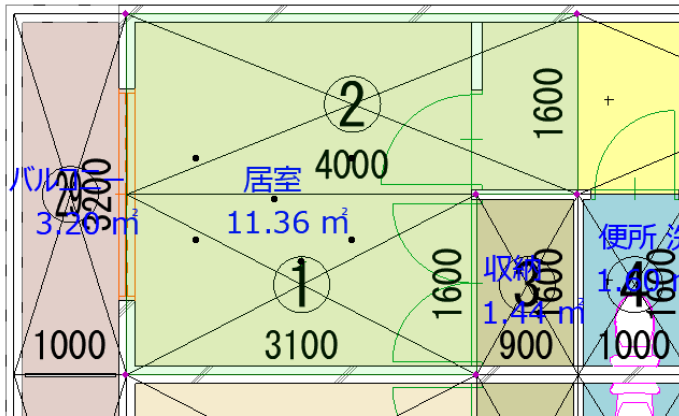


・プラン変更内容

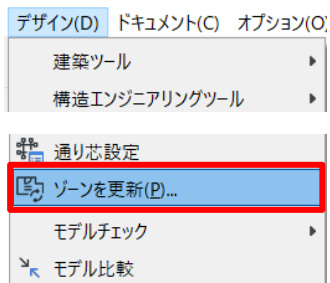


[操作手順]

- 1) 変更があるゾーンを選択します。

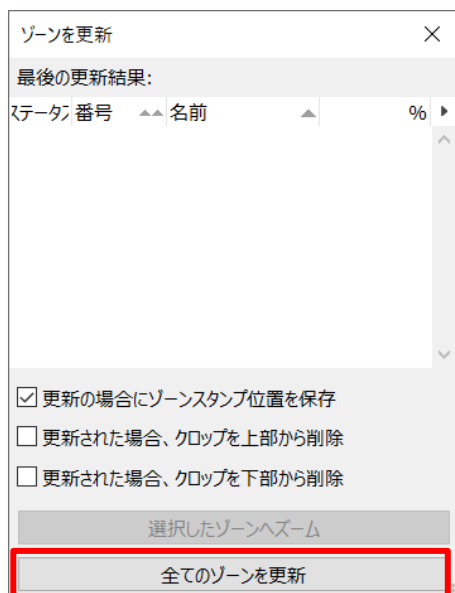


- 2) Archicad デザインメニューより、「ゾーンを更新」を選択します。

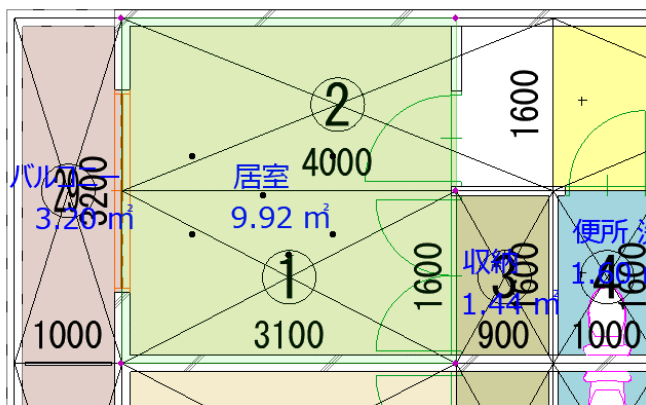


- 3) 「ゾーンを更新」ダイアログが開きます。

- 4) 「選択したゾーンの更新」を選択します。



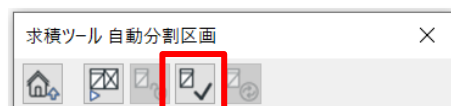
5) ゾーンが更新されます。



6) 「自動分割区画」パレットを開きます。



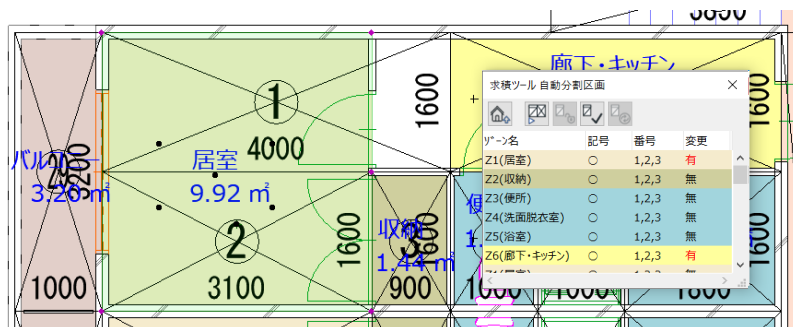
7) 「更新チェック」を選択します。



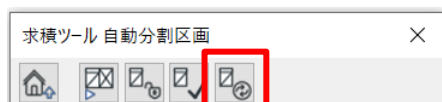
8) ゾーンの更新チェックが行われ、「変更」欄が「有」になります。



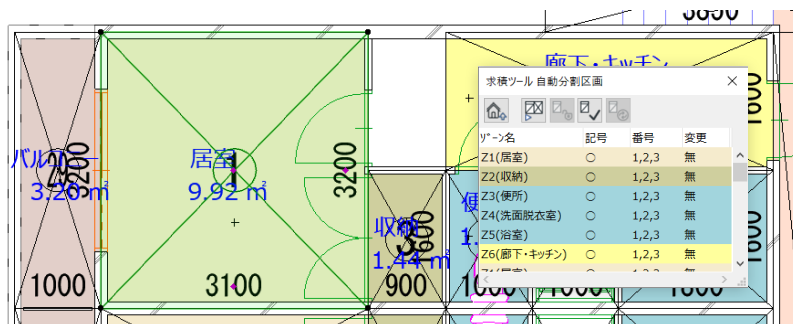
9) 変更のあるゾーンを選択します。



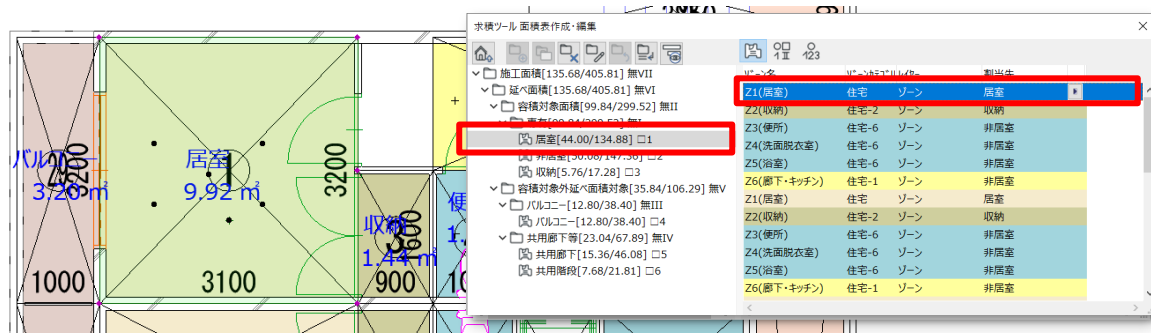
10) 「再作成」を選択します。



11) 自動求積図形が更新され、「自動分割区画」パレットの「変更」欄が「無」になります。



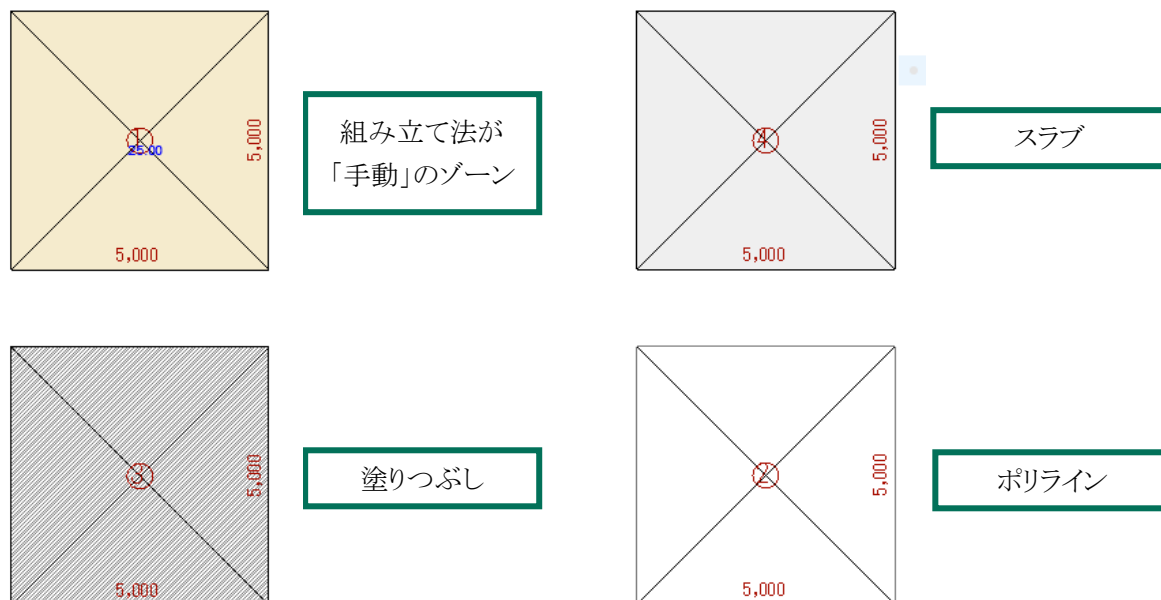
12) 自動求積図形の更新にあわせて、面積が更新されます。



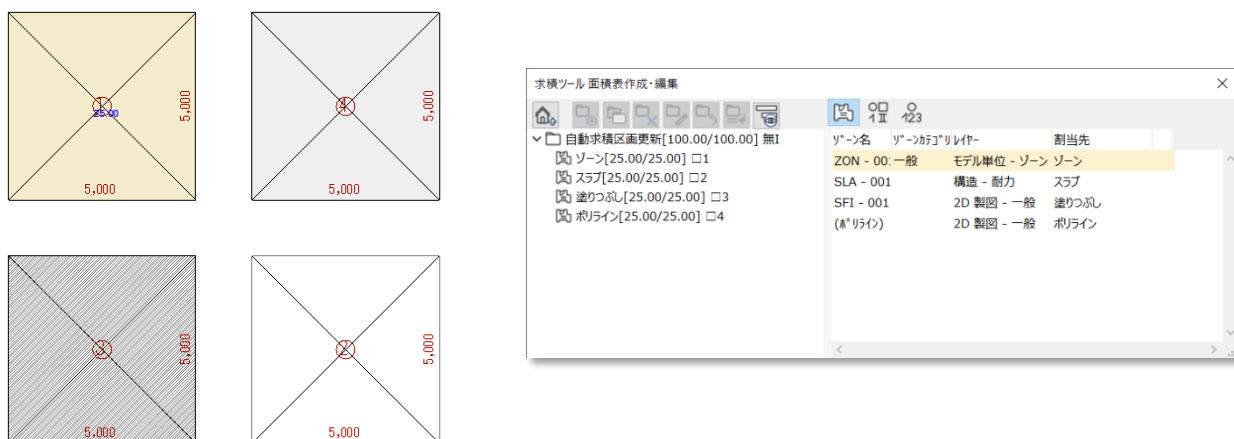
6-8-1-2 組み立て法が「手動」のゾーン、スラブ、塗りつぶし、またはポリラインの場合

- 元の要素が、組み立て法が「手動」のゾーン、スラブ、塗りつぶし、またはポリラインの場合、元の要素を変更した段階で、更新チェックが行われます。

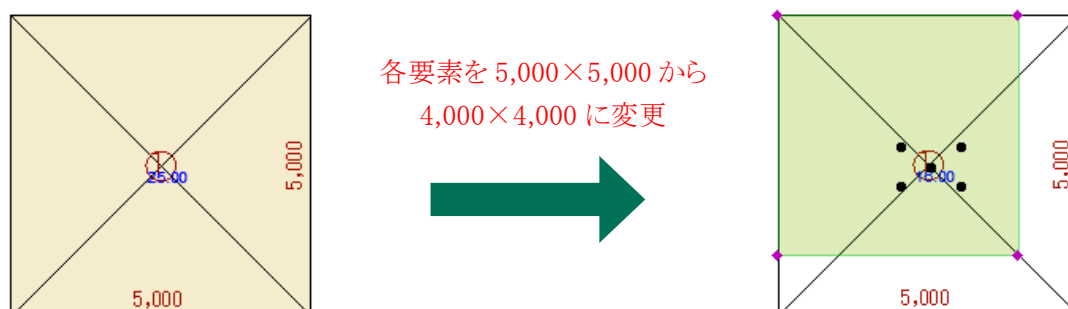
・元 Archicad 要素



・変更前の面積

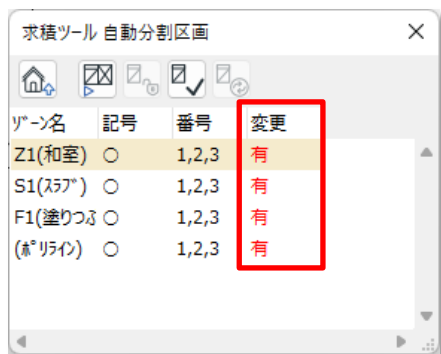


・変更内容

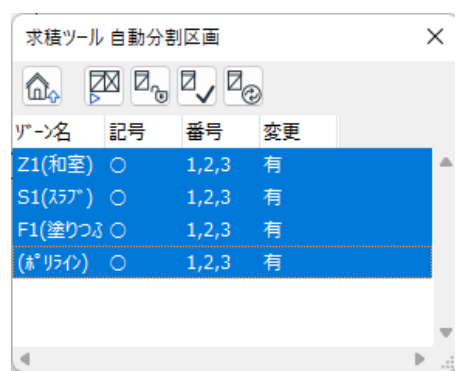
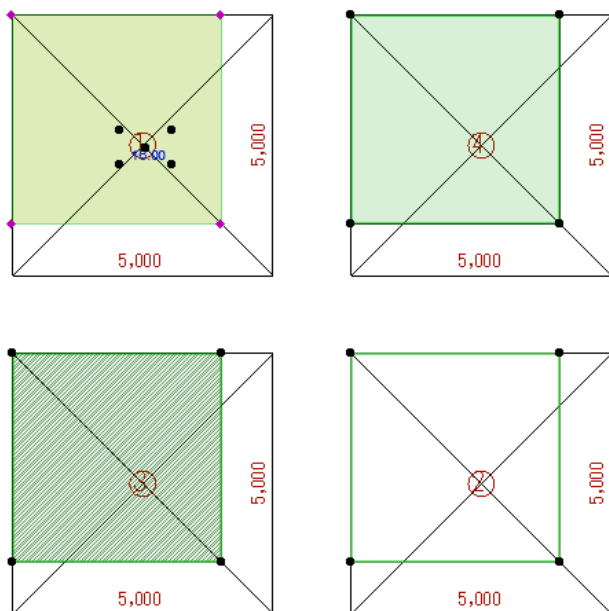


[操作手順]

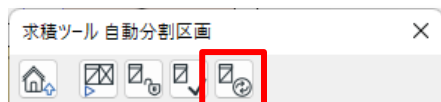
- 1) 「自動分割区画」パレットを開きます。
- 2) 元の要素に変更がある自動分割区画の「変更」欄が「有」になっていることを確認します。



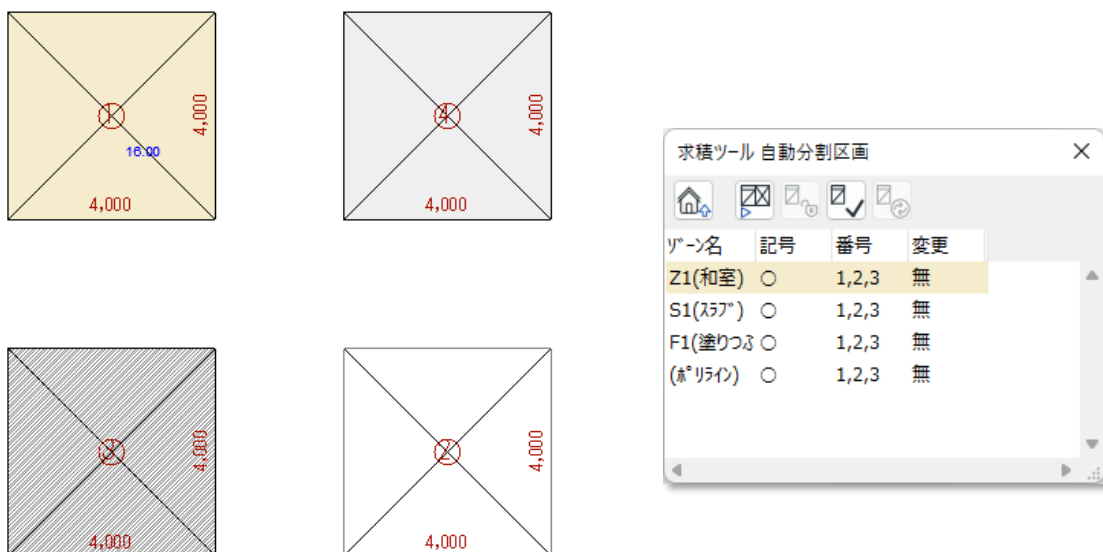
- 3) 変更のある要素を選択します。



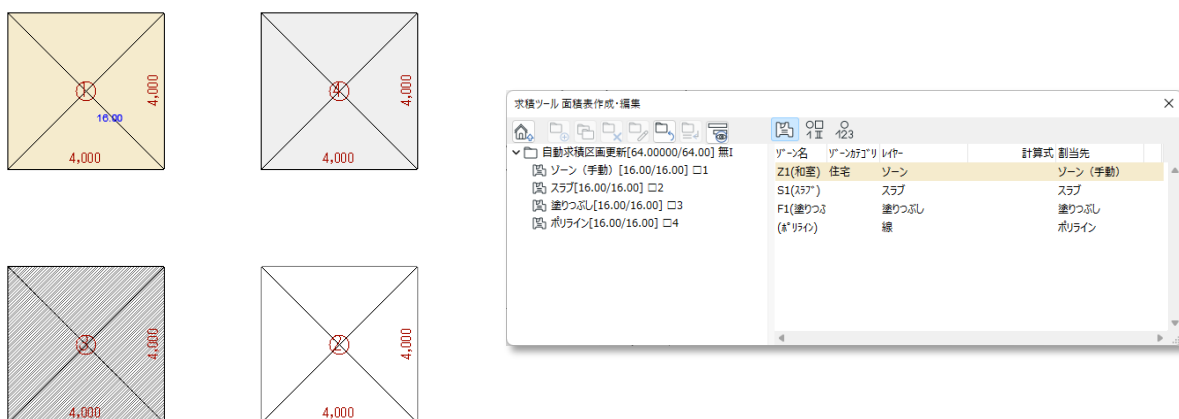
- 4) 「再作成」を選択します。



- 5) 自動求積図形が更新され、「自動分割区画」パレットの「変更」欄が「無」になります。



- 6) 自動求積図形の更新にあわせて、面積が更新されます。

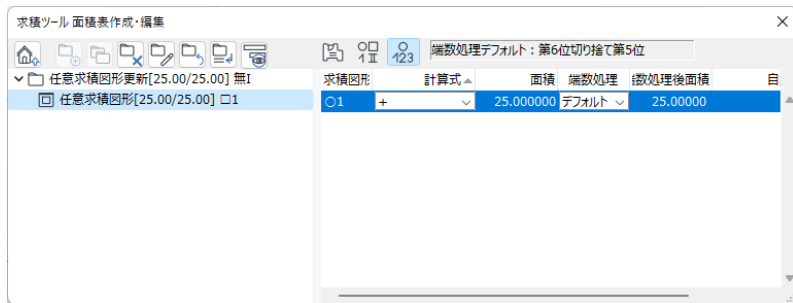
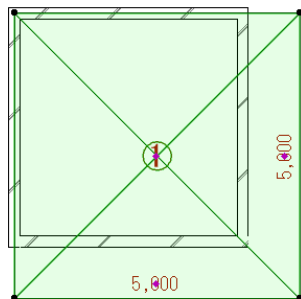


6-8-2 任意求積図形を更新する

○「任意求積図形」の更新は、任意求積図形を直接編集します。

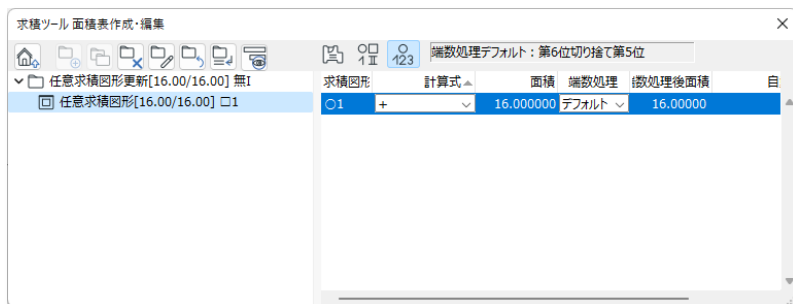
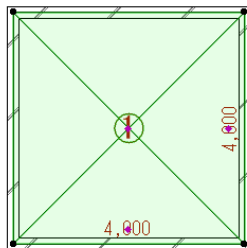
[操作手順]

1) 更新を行う任意求積図形を選択します。



2) 任意求積図形を編集します。

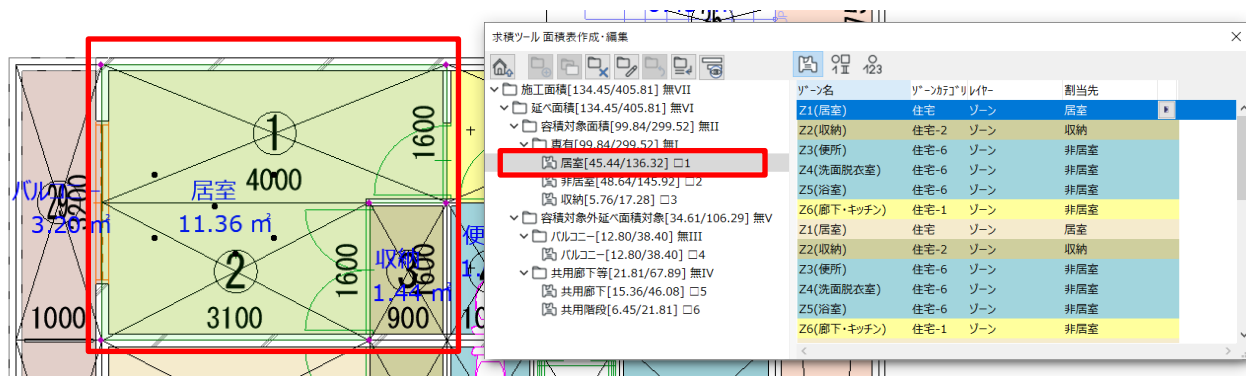
3) 任意求積図形の更新にあわせて、面積が更新されます。



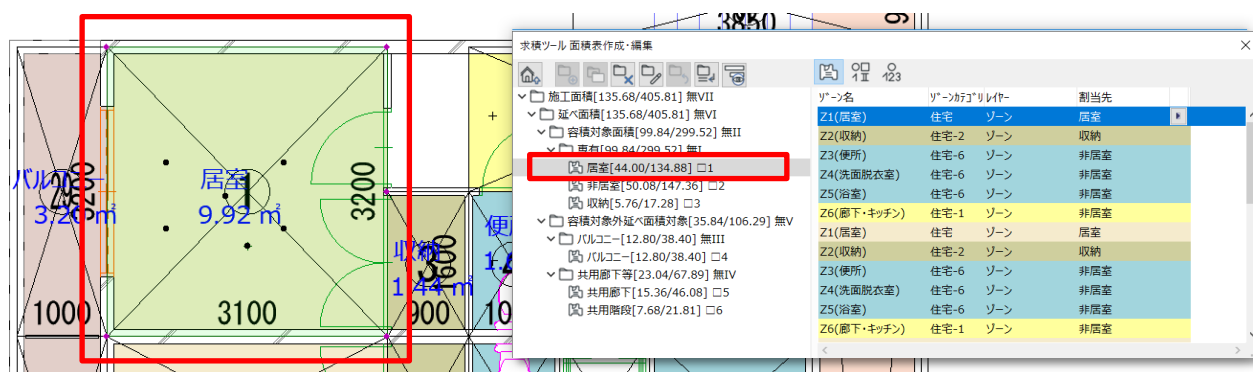
6-8-3 求積表及び求積図を更新する

- 求積表及び求積図の更新は、表を出力することで行います。
- レイアウトブックに「更新タイプ」が「手動」の図面を配置している場合は、配置図面の更新を行います。

・変更前

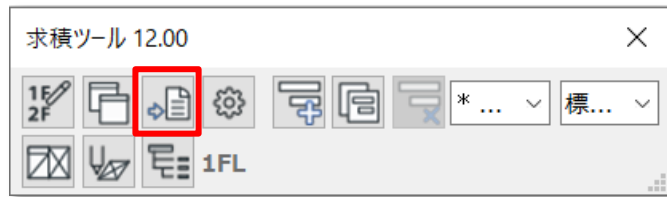


・変更後

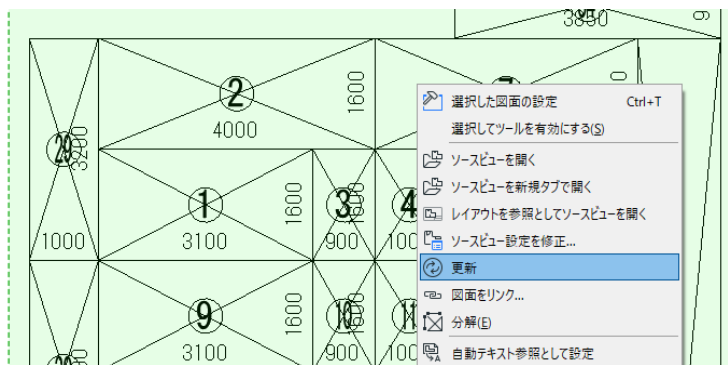


[操作手順]

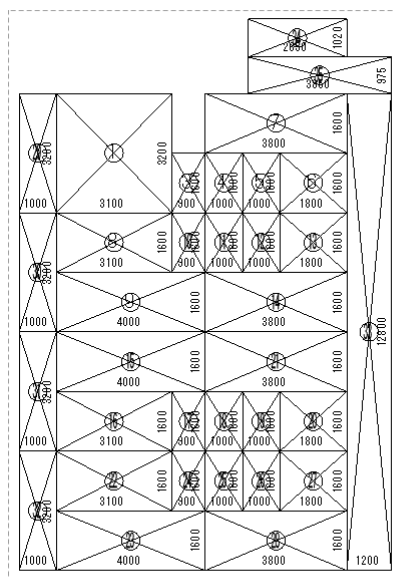
- 1) 「出力の設定」を選択します。



- 2) 「出力の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 「ワークシート」を選択します。
- 4) 出力するフロアを選択します。
- 5) 「OK」を選択します。
- 6) ワークシートの求積表及び求積図が更新されます。
- 7) 求積表または求積図を配置している「レイアウトブック」を開きます。
- 8) 「更新タイプ」が「自動」の図面の場合は、自動で図面が更新されます。
「更新タイプ」が「手動」の図面の場合は、更新する図面を選択し右クリックメニューの「更新」を選択します。



- 9) 図面が更新されます。



記号	計算式	面積
①	1,000 × 3,200	3,200,000
②	1,000 × 3,200	3,200,000
③	1,000 × 3,200	3,200,000
④	1,000 × 3,200	3,200,000
⑤	1,200 × 12,800	15,360,000
⑥	2,650 × 1,020	2,703,000
⑦	3,850 × 0,975	3,753,750
⑧	0,900 × 1,600	1,440,000
⑨	1,000 × 1,600	1,600,000
⑩	1,000 × 1,600	1,600,000
⑪	1,800 × 1,600	2,880,000
⑫	3,800 × 1,600	6,080,000
⑬	3,100 × 1,600	4,960,000
⑭	4,000 × 1,600	6,400,000
⑮	0,900 × 1,600	1,440,000
⑯	1,000 × 1,600	1,600,000
⑰	1,000 × 1,600	1,600,000
⑱	1,800 × 1,600	2,880,000
⑲	3,800 × 1,600	6,080,000
⑳	3,100 × 1,600	4,960,000
㉑	4,000 × 1,600	6,400,000
㉒	0,900 × 1,600	1,440,000
㉓	1,000 × 1,600	1,600,000
㉔	1,000 × 1,600	1,600,000
㉕	1,800 × 1,600	2,880,000
㉖	3,800 × 1,600	6,080,000
㉗	3,100 × 1,600	4,960,000
㉘	4,000 × 1,600	6,400,000
㉙	0,900 × 1,600	1,440,000
㉚	1,000 × 1,600	1,600,000
㉛	1,000 × 1,600	1,600,000
㉜	1,800 × 1,600	2,880,000
㉝	3,800 × 1,600	6,080,000
㉞	3,100 × 3,200	9,920,000

7 表出力

7-1 はじめに

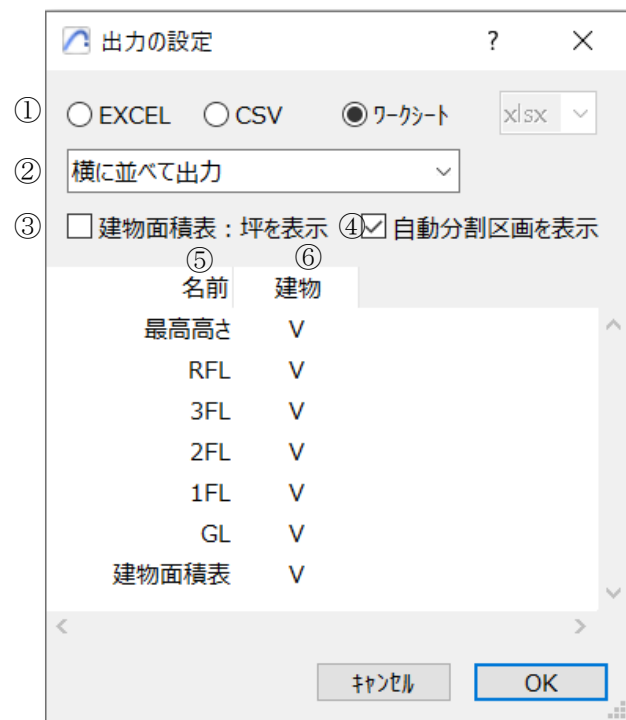
○ 求積表及び求積図を出力します。

○ Excel(.xls形式)、CSV(.csv形式)、またはワークシートに出力できます。

※ プロジェクトファイルの名前が「名称未設定」の場合、Excel 出力はできません。

※ Excel 出力は Windows 版のみの機能です。

7-1-1 「出力の設定」ダイアログ



番号	項目名	内容	
①	出力形式選択	出力形式を選択します	
		EXCEL	.xlsx 形式または.xls 形式で求積表を出力します Windows 版のみの機能です
		CSV	.csv 形式で求積表を出力します
		ワークシート	ワークシートに求積表及び求積図を出力します
②	出力方向選択	出力形式でワークシートを選択した場合に求積表の出力方向を選択します	
		横に並べて出力	求積表を横に並べて出力します
		縦に並べて出力 (位置指定)	求積表の位置を指定して、縦に並べて出力します
		縦に並べて出力 (表間指定)	求積表の表間を指定して、縦に並べて出力します
③	建物面積表：坪を表示	建物面積表の合計欄に坪表記を表示します	
④	自動分割区画を表示	フロア別求積図に自動分割区画求積図を表示します	
⑤	名前	フロアの名前を表示します	
⑥	計算パターン名	計算パターンの名前を表示します	
		チェックを入れたフロアを出力します	
		※集計対象外のフロアは選択できません	

7-1-2 Excel 形式で出力する

○ プロジェクトファイルと同じ場所に、「プロジェクトファイル名 求積表.xls または.xlsx」の名前で保存されます。

※ 求積表の数値を出力するもので、関数計算式は定義されません。

※ ビルド番号が「16.0」以降の Excel のバージョンに対応しています。ビルド番号「15」以前のバージョンの場合、出力できない場合があります。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、「EXCEL」を選択します。
- 2) 「.xlsx」または「.xls」を選択します。
- 3) 各種設定をします。
- 4) 出力するフロアを選択します。
- 5) 「OK」を選択します。
- 6) 確認ダイアログが開きます。
- 7) 「OK」を選択します。
- 8) Excel が開きます。

7-1-2-1 自動分割区画求積表

○ 「各室 ‘計算パターン名’」シートに出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1																
2	階	ゾーン名	ゾーン名	ゾーンのID	ゾーンのオブジェクト	オブジェクト	オブジェクト	記号	番号	計算式	面積					
3	3FL	住宅	居室	Z1	<ゾーン#01	求積ゾ	居室	○	1	3.100×1.6	4.96					
4	3FL	住宅	居室	Z1	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	2	4.000×1.6	6.40					
5	3FL	住宅-2	収納	Z2	<ゾーン#01	求積ゾ	収納	○	3	0.900×1.6	1.44					
6	3FL	住宅-6	便所	Z3	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	4	1.000×1.6	1.60					
7	3FL	住宅-6	洗面脱衣室	Z4	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	5	1.000×1.6	1.60					
8	3FL	住宅-6	浴室	Z5	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	6	1.800×1.6	2.88					
9	3FL	住宅-1	廊下・キッチン	Z6	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	7	3.800×1.6	6.08					
10	3FL	住宅	居室	Z1	<ゾーン#01	求積ゾ	居室	○	8	4.000×1.6	6.40					
11	3FL	住宅	居室	Z1	<ゾーン#01	求積ゾ	居室	○	9	3.100×1.6	4.96					
12	3FL	住宅-2	収納	Z2	<ゾーン#01	求積ゾ	収納	○	10	0.900×1.6	1.44					
13	3FL	住宅-6	便所	Z3	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	11	1.000×1.6	1.60					
14	3FL	住宅-6	洗面脱衣室	Z4	<ゾーン#01	求積ゾ	非居室	○	12	1.000×1.6	1.60					

7-1-2-2 建物求積表

○ 「‘計算パターン名’」シートに出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1																
2																
3																
4																
5																
6	3FL	45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.8	12.8	15.36	7.68	23.04	35.84	135.68	135.68		
7	2FL	45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.8	12.8	15.36	7.68	23.04	35.84	135.68	135.68		
8	1FL	45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.8	12.8	15.36	6.45	21.81	34.61	134.45	134.45		
9	合計	136.32	145.92	17.28	299.52	299.52	38.4	38.4	46.08	21.81	67.89	106.29	405.81	405.81		
10	合計(坪)	41.23	44.14	5.22	90.6	90.6	11.61	11.61	13.93	6.59	20.53	32.15	122.75	122.75		
11																
12																
13																
14																

7-1-2-3 フロア別求積表

○ 「‘計算パターン名’ ‘フロア名’ (‘フロア番号’)」シートに出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	記号	計算式	面積		○1	居室							Z1(居室)			
2	○1	3.100×1.6	4.960000		計算式	面積						記号	計算式	面積		
3	○2	4.000×1.6	6.400000		○1+○2+	45.44						○1	3.100×1.6	4.96		
4	○3	0.900×1.6	1.440000		合計	45.44						○2	4.000×1.6	6.40		
5	○4	1.000×1.6	1.600000										合計	11.36		
6	○5	1.000×1.6	1.600000		○2	非居室										
7	○6	1.800×1.6	2.880000		計算式	面積										
8	○7	3.800×1.6	6.080000		○4+○5+	48.64						記号	計算式	面積		
9	○8	4.000×1.6	6.400000		+○21+○25+○26+○27+○28							○3	0.900×1.6	1.44		
10	○9	3.100×1.6	4.960000		合計	48.64							合計	1.44		
11	○10	0.900×1.6	1.440000													
12	○11	1.000×1.6	1.600000		○3	収納										
13	○12	1.000×1.6	1.600000		計算式	面積						記号	計算式	面積		
14	○13	1.800×1.6	2.880000		○3+○10+	5.76						○4	1.000×1.6	1.60		

7-1-3 CSV 形式で出力する

○ プロジェクトファイルと同じ場所に、「プロジェクトファイル名 求積表.csv」の名前で保存されます。

※ 一つのシートに複数の求積表をまとめて出力します。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、「CSV」を選択します。
- 2) 各種設定をします。
- 3) 出力するフロアを選択します。
- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 確認ダイアログが開きます。
- 6) 「OK」を選択します。

7-1-3-1 フロア別求積表、建物求積表、自動分割区画求積表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	建物 1FL(	記号	計算式	面積						
2		○1	3.100×1.6	4.96						
3		○2	4.000×1.6	6.4						
4		○3	0.900×1.6	1.44						
5		○4	1.000×1.6	1.6						
6		○5	1.000×1.6	1.6						
7		○6	1.800×1.6	2.88						
8		○7	3.800×1.6	6.08						
9		○8	4.000×1.6	6.4						
10		○9	3.100×1.6	4.96						
11		○10	0.900×1.6	1.44						
12		○11	1.000×1.6	1.6						
13		○12	1.000×1.6	1.6						
14		○13	1.800×1.6	2.88						
15		○14	3.800×1.6	6.08						
16		○15	3.100×1.6	4.96						

プロジェクトファイル名 求積表

7-1-4 ワークシートに出力する

- 各求積表は、計算パターン別及び計算対象フロア別に、独立したワークシートを作成し出力します。
- 各求積表及び求積図は、オブジェクトとして出力されます。
- 一度出力した求積表を再度出力した場合、各求積表及び求積図が更新されます。
- 各求積表及び求積図のオブジェクト以外の要素は更新されません。
- フロア別求積表の各求積図は、求積図形の最右側を基準位置として配置されます。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、で「ワークシート」を選択します。
- 2) 各種設定をします。
- 3) 出力するフロアを選択します。
- 4) 「OK」を選択します。

7-1-4-1 フロア別求積表及び求積図

- 「求積図」「計算パターン名」「フロア名」ワークシートに出力されます。

※ 下図は「横に並べて出力」を選択した場合の表示です。

<

7-1-4-2 建物求積表

- 「求積図」「計算パターン名」「建物面積表」ワークシートに出力されます。

施工面積							
				容積対象面積			
				バルコニー			
専有				バルコニー			
居室				バルコニー			
3FL	45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.80	12.80
2FL	45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.80	12.80
1FL	45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.80	12.80
合計	136.32	145.92	17.28	299.52	299.52	38.40	38.40

8 環境設定

8-1 はじめに

- 本システムの環境設定を行います。
- 設定内容のインポート及びエクスポートが可能です。
- 設定した内容は、求積図形・求積計算には即座に反映されます。
- ワークシートへの設定した内容の反映は表出力を行う必要があります。

番号	項目名	内容	Light
①	端数処理	端数処理パターンの管理及び設定をします	△
②	モード設定	求積表及び求積図形の表示モードを設定します	△
③	計算パターン	計算パターンの管理及び設定をします	×
④	記号・番号タイプ	記号・番号の組み合わせ毎の表示の設定をします	○
⑤	面積表	フロア別求積表のワークシート出力の設定をします	△
⑥	建物面積表	建物求積表のワークシート出力の設定をします	△
⑦	図形 1	任意求積図形の三角形、四角形、台形の設定をします	○
⑧	図形 2	任意求積図形の扇形・弓型、円弧、正円・楕円の設定をします	○
⑨	インポート	求積ツール設定ファイル(.dat)をインポートします	○
⑩	エクスポート	求積ツール設定ファイル(.dat)をエクスポートします	○

8-2 端数処理

○ 端数処理パターンの管理及び設定をします。



番号	項目名	内容	Light
①	新規	端数処理パターンを新規作成します	×
②	名前編集	選択中の端数処理パターンの名前を編集します	×
③	削除	選択中の端数処理パターンを削除します	×
④	端数処理パターン選択	端数処理パターンを選択します	×
⑤	求積図形	求積図形求積表における求積図形の端数処理及び端数有効桁数を選択します ※Light版の端数処理桁数は「小数点第6位」で固定です	△
⑥	求積図形List	小計フォルダ求積表、計算要素集計表及び自動分割区画求積表の端数処理及び端数有効桁数を選択します ※Light版の端数有効桁数は「小数点第0位～2位」までです	△
⑦	角度精度	求積図形求積表における角度精度の端数処理及び端数有効桁数を選択します ※Light版の端数有効桁数は「小数点第0位～2位」までです	△
⑧	図形の寸法精度	求積図形求積表における求積図形の寸法精度の端数処理及び端数有効精度を選択します	○
⑨	円周率	円周率の端数有効桁数を選択します ※Light版は「3.14」で固定です	×
⑩	切り上げ処理	端数処理対象桁が「0」の場合の処理を設定します	○

8-2-1 面積の切り上げは1つ下の位で処理する

チェックを入れると、端数処理が「切り上げ」で、端数処理対象桁が「0」の場合に、切り上げ処理をしません。

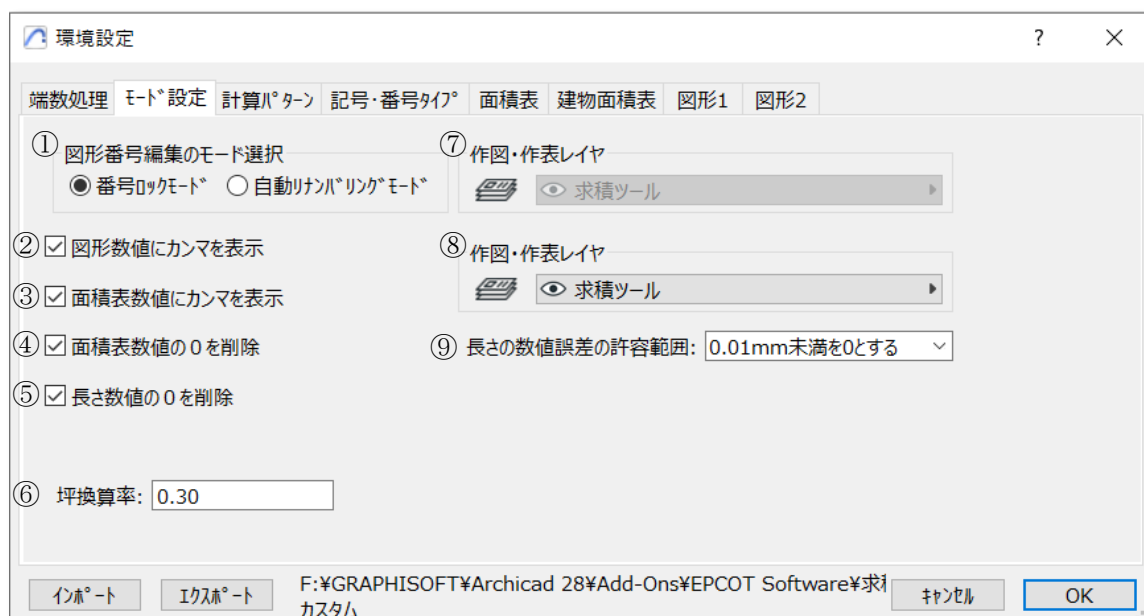
例) 実面積:54.321012 m² 端数処理:切り上げ 端数有効桁数:「小数点第3位」

・チェック有の場合:54.322 m²

・チェック無の場合:54.321 m² (小数点第4位が「0」のため、切り上げ処理をしません。)

8-3 モード設定

○ 求積表及び求積図形の表示モードを設定します。



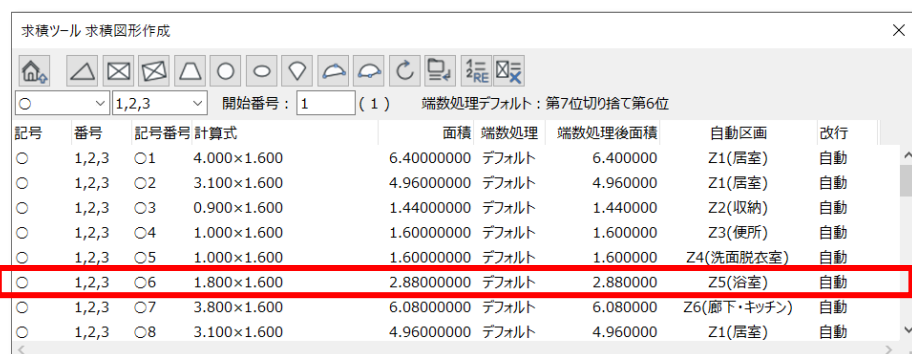
番号	項目名	内容	Light
①	図形番号編集のモード選択	求積図形作成パレットの求積図形リストのリナンバリング方法を選択します	×
		番号ロックモード	
		自動リナンバリングモード	
②	図形数値にカンマを表示	チェックを入れると、求積図形長さ寸法表示を桁区切りします	×
③	面積表数値にカンマを表示	チェックを入れると、各求積表の面積を桁区切りします	×
④	面積表数値の 0 を削除	チェックを入れると、各求積表の面積の端数有効桁以下が 0 の場合に 0 を削除します	○
⑤	長さ数値の 0 を削除	チェックを入れると、求積図形長さ寸法の端数有効桁以下が 0 の場合に 0 を削除します	○
⑥	換算率	表出力に坪表示をする場合の換算率を設定します デフォルトは「0.3025」です ※端数表示桁数は Archicad メニューで設定します	○
⑦	作図・作表レイヤ 1	使用しません	○
⑧	作図・作表レイヤ 2	ワークシート出力する場合の、求積図及び求積表の書き込みレイヤーを選択します	○
⑨	長さの数値誤差の許容範囲	求積図形の長さにおける、Archicad と本システムの数値誤差の許容範囲を設定します	○
		処理しない	
		***未満を 0 とする	
		数値誤差の処理を行いません	
		選択した桁数未満を 0 として処理を行います	

8-3-1 図形番号編集のモード選択について

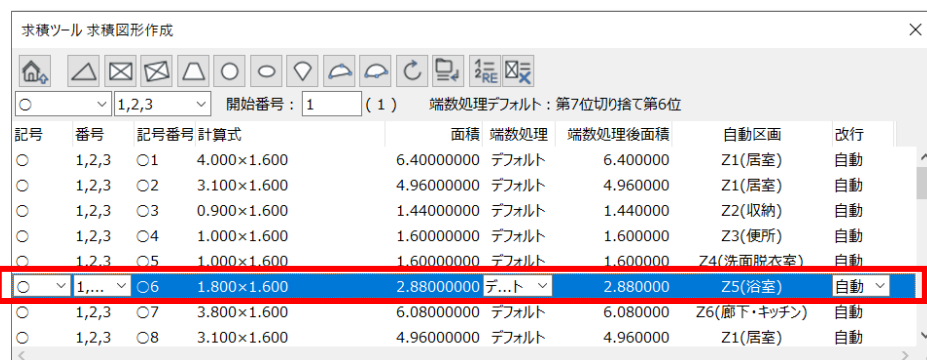
○求積図形作成パレットの求積図形リストで求積図形をドラッグで移動することで、求積図形の順序を変更することができます。

○「図形番号編集のモード選択」で選択したモードによって、番号の設定が異なります。

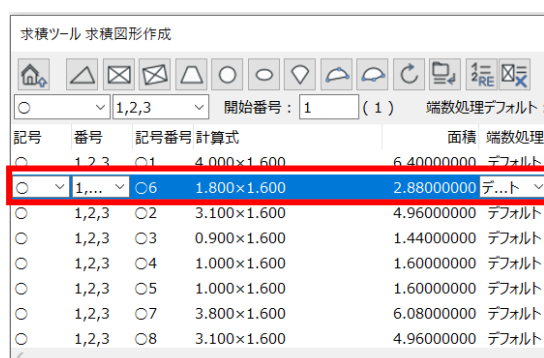
モード	概要
番号ロックモード	求積図形の順序を変更した場合、番号を変更しません 求積図形を削除した場合、番号を欠番とします
自動リナンバリングモード	求積図形の順序を変更や削除した場合、番号をリナンバリングします



○6 の求積図形を○1 と○2 の間にドラッグして移動



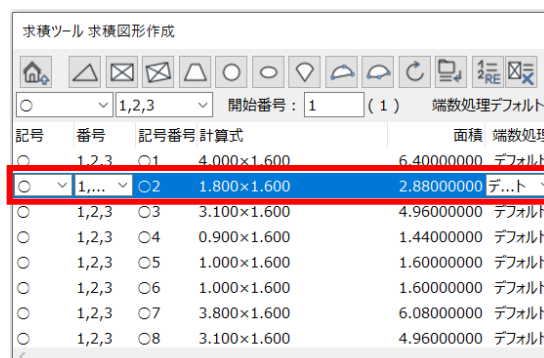
番号ロックモード



○6 はそのままです



自動リナンバリングモード



移動した求積図形が○2 にリナンバリングされます

8-4 計算パターン

- 計算パターンの管理及び設定をします。
- 作成した計算パターンはメインパレットの「計算パターンの追加」でプロジェクトに適用します。

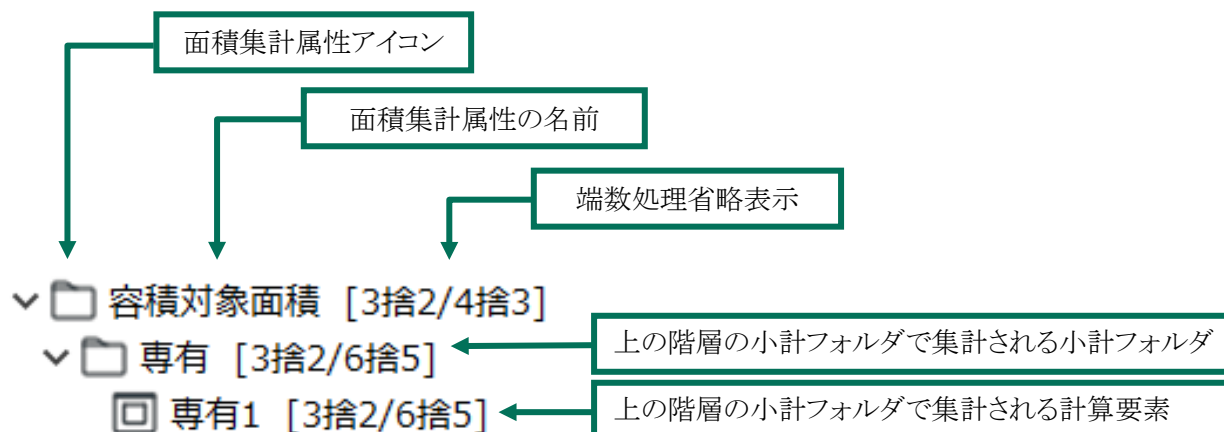


番号	項目名	内容	Light
①	新規	計算パターンを新規作成します	×
②	複製	選択中の計算パターンを複製します	×
③	削除	選択中の計算パターンを削除します	×
④	計算パターン保存	選択中の計算パターンを「計算パターンファイル形式(.dattree)」で保存します	×
⑤	計算パターン読込	「計算パターンファイル形式(.dattree)」を読み込みます	×
⑥	計算パターン選択	設定を行う計算パターンを選択します	×
⑦	追加	選択中の計算パターンに面積集計属性を追加します	×
⑧	複製	選択中の計算パターンの選択した小計フォルダを複製します ※選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複製します	×
⑨	削除	選択した面積集計属性を削除します	×
⑩	編集	選択した面積集計属性を編集します	×
⑪	計算パターンリスト	選択中の計算パターンを表示します	×

8-4-1 計算パターンリストの見方

8-4-1-1 面積集計属性について

○ 面積集計属性は「面積集計属性アイコン」+「面積集計属性の名前」+「端数処理省略表示」で表示されます。



8-4-1-2 面積集計属性アイコンについて

○ 面積集計属性の種類をアイコンで表示します。

※ 環境設定/計算パターンで設定可能な計算要素の集計タイプは「求積図形」のみです。

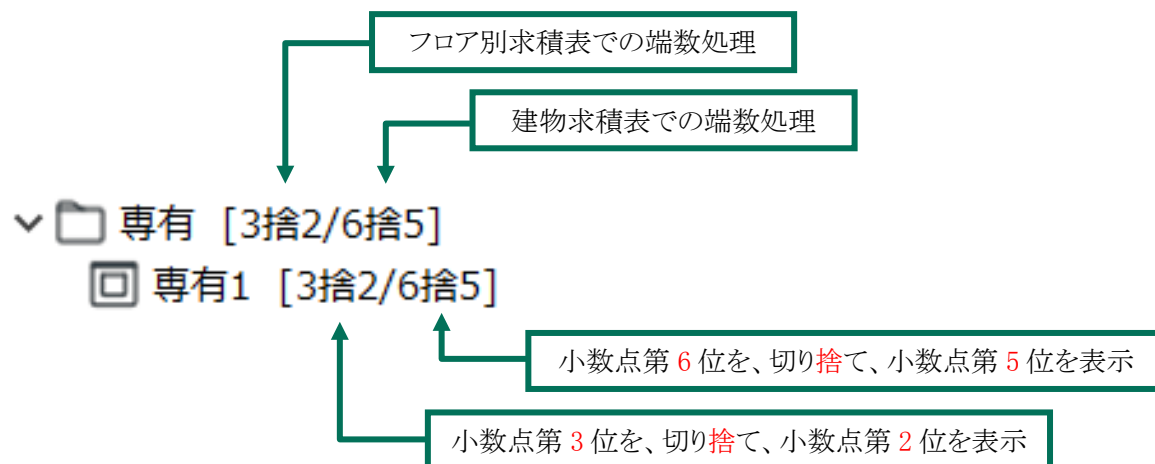
表示項目	アイコン	概要
小計フォルダ		小計フォルダです
計算要素		集計面積タイプが「求積図形」の計算要素です

8-4-1-3 端数処理の省略表示について

○ 面積集計属性の端数処理設定を名前の後に表示します。

○ 「[フロア別求積表/建物求積表]」での端数処理を表示します。

○ 端数処理は「端数処理対象桁」+「端数処理方法」+「端数有効桁数」で省略表示されます。



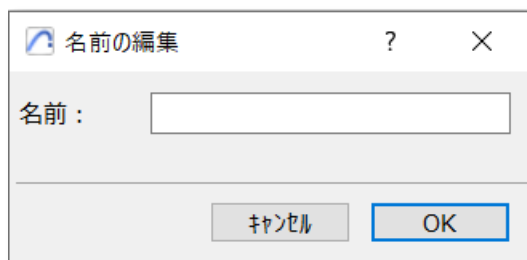
8-4-2 計算パターンの作成・削除

8-4-2-1 計算パターンを新規作成する

- 計算パターンを新規作成します。
- 新規作成した計算パターンは最上層の小計フォルダのみ設定されています。

[操作手順]

- 1) 計算パターンの作成・削除行より、「新規」を選択します。
- 2) 「名前の編集」ダイアログが開きます。



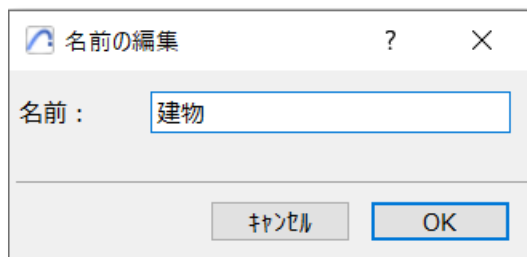
- 3) 新規作成する計算パターンの名前を設定します。
- 4) 「OK」を選択します。

8-4-2-2 計算パターンを複製する

- 選択中の計算パターンを複製します。
- 計算パターンに含まれる面積集計属性を含めて複製します。

[操作手順]

- 1) 「計算パターン選択」プルダウンメニューより、複製する計算パターンを選択します。
- 2) 計算パターンの作成・削除行より、「複製」を選択します。
- 3) 「名前の編集」ダイアログが開きます。



- 4) 複製する計算パターンの名前を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

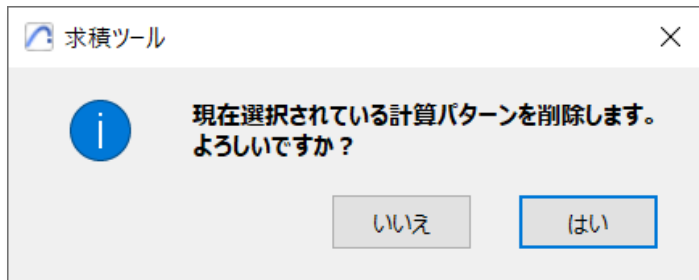
8-4-2-3 計算パターンを削除する

○ 選択中の計算パターンを削除します。

※ 削除した計算パターンを元に戻すことは出来ません。

[操作手順]

- 1) 「計算パターン選択」プルダウンメニューより、削除する計算パターンを選択します。
- 2) 計算パターンの作成・削除行より、「削除」を選択します。
- 3) 確認メッセージダイアログが開きます。



- 4) 「はい」を選択します。

8-4-2-4 計算パターンを保存する

○ 選択中の計算パターンを「計算パターンファイル(.dattree 形式)」で保存します。

[操作手順]

- 1) 「計算パターン選択」プルダウンメニューより、保存する計算パターンを選択します。
- 2) 計算パターンの作成・削除行より、「計算パターン保存」を選択します。
- 3) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
- 4) 保存先を選択し、ファイルの名前を設定します。
- 5) 「保存」を選択します。

8-4-2-5 計算パターンを読み込む

○ 計算パターンファイル(.dattree 形式)を読み込み、計算パターンを追加します。

[操作手順]

- 1) 計算パターンの作成・削除行より、「計算パターン読込」を選択します。
- 2) 「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
- 3) 読込む計算パターンファイルを選択します。
- 4) 「開く」を選択します。

8-4-3 計算パターンリストを編集する

8-4-3-1 面積集計属性を追加する

○ 選択中の計算パターンに面積集計属性を追加します。

・「計算パターン項目の追加」ダイアログ

① タイプ
☐ 計算要素
☐ 小計フォルダ

② 端数処理
建物全体面積集計 : 未定義 小数点第0位
用途別面積集計 : 未定義 小数点第0位

③ 要素名・小計名 :

キャンセル OK

番号	項目名	内容
①	タイプ	追加する面積集計属性のタイプを選択します
②	端数処理	追加する面積集計属性の端数処理及び端数表示桁数を選択します
		建物全体面積集計 建物求積表に反映されます
		用途別面積集計 フロア別求積表に反映されます
③	要素名・小計名	面積集計属性の名前を設定します

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、小計フォルダを選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「追加」を選択します。
- 3) 「計算パターン項目の追加」ダイアログが開きます。
- 4) 「タイプ」を選択します。
- 5) 「端数処理」を選択します。
- 6) 「要素名・小計名」を設定します。
- 7) 「OK」を選択します。
- 8) 選択した小計フォルダの下層に面積集計属性が追加されます。

8-4-3-2 小計フォルダを複製する

- 選択した小計フォルダを同一階層に複製します。
- 選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複製します。

[操作手順]

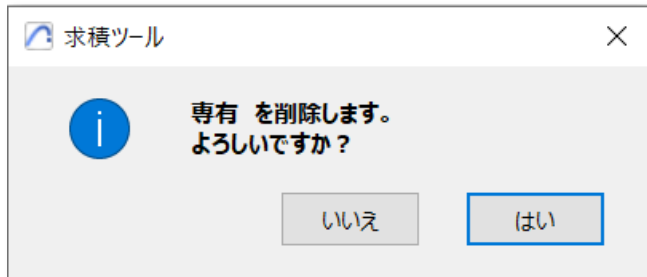
- 1) 計算パターンリストより、複製する小計フォルダを選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「複製」を選択します。
- 3) 選択した小計フォルダと同一階層に小計フォルダが複製されます。

8-4-3-3 面積集計属性を削除する

- 選択した面積集計属性を削除します。
- 最上層の小計フォルダは削除できません。

[操作手順]

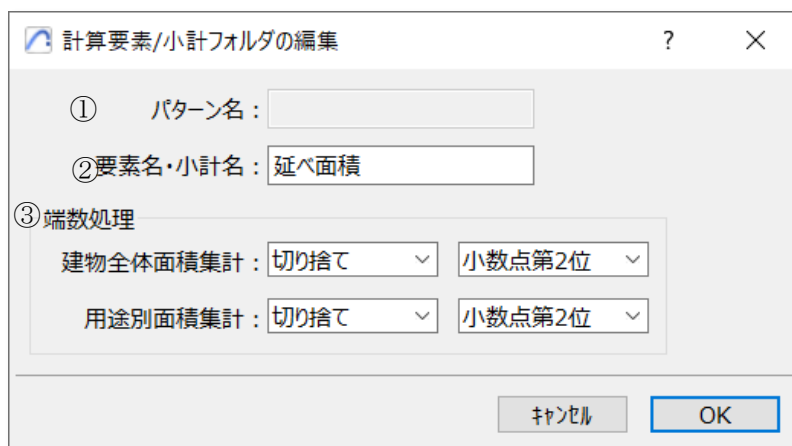
- 1) 計算パターンリストより、削除する面積集計属性を選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「削除」を選択します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



- 4) 「はい」を選択します。

8-4-3-4 小計フォルダを編集する

- ・「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログ



番号	項目名	内容	
①	パターン名	計算パターンの名前を設定します 最上層の小計フォルダを選択した場合のみ有効です	
②	要素名・小計名	選択した小計フォルダの名前を設定します	
③	端数処理	選択した小計フォルダの端数処理及び端数表示桁数を選択します	
		建物全体面積集計	建物求積表に反映されます
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「編集」を選択します。
- 3) 「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

8-4-3-5 計算要素を編集する

・「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログ

① パターン名:

② 要素名・小計名:

③ 端数処理

建物全体面積集計:

用途別面積集計:

番号	項目名	内容
①	パターン名	計算パターンの名前を設定します 計算要素を選択した場合は無効です
②	要素名・小計名	選択した計算要素の名前を設定します
③	端数処理	選択した計算要素の端数処理及び端数表示桁数を選択します
		建物全体面積集計 建物求積表に反映されます
		用途別面積集計 フロア別求積表に反映されます

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、編集する計算要素を選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「編集」を選択します。
- 3) 「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

8-5 記号・番号タイプ

○ 記号・番号の組み合わせ毎の表示の設定をします。

※ デフォルト表示は記号タイプ「○」、番号タイプ「1,2,3」の組み合わせです。

環境設定

端数処理 モード設定 計算パターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2

① 選択する記号タイプ: ○ ② 選択する番号タイプ: 1,2,3

③ 記号・番号ペン: 8 ⑧ 塗潰タイプ: 背景

④ 記号・番号フォント: MS ゴ... 日本語 ⑨ 輪郭ペン: 1

⑤ 記号サイズ: 0.50 ⑩ 塗潰ペン: 19

⑥ 寸法表示: ☒ ⑪ 塗潰背景ペン: 0

⑦ 寸法サイズ: 0.50

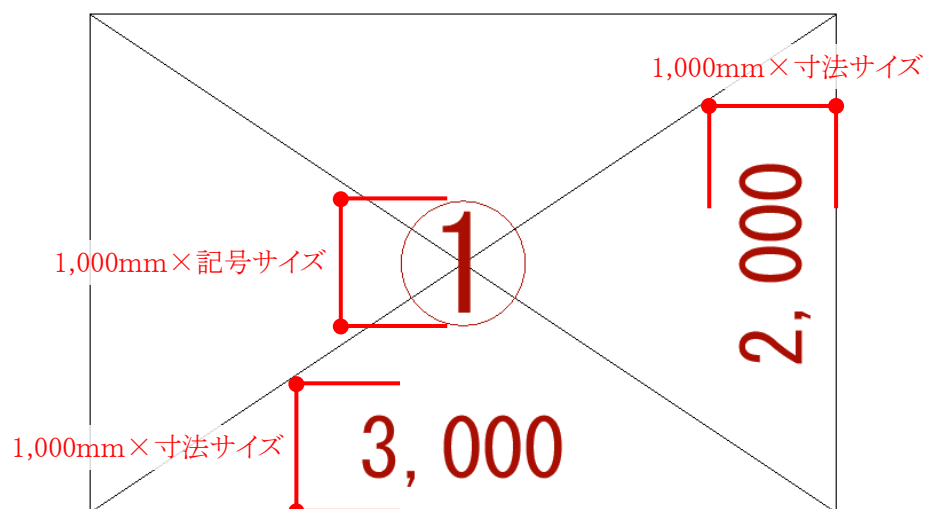
⑫ ☐ 塗りつぶし設定を無視する

インポート イクスポート F:\GRAPHISOFT\Archicad 28\Add-Ons\EPCOT Software\求積カスタム キャンセル OK

番号	項目名	内容	Light
①	選択する記号タイプ	記号タイプを選択します	○
②	選択する番号タイプ	番号タイプを選択します	○
③	記号・番号ペン	記号・番号のペン番号を選択します	○
④	記号・番号フォント	記号・番号のフォントを選択します	○
⑤	記号サイズ	記号・番号のフォントサイズを設定します	○
⑥	寸法表示	チェックを入れると、求積図形の寸法を表示します	○
⑦	寸法サイズ	求積図形の寸法サイズを設定します	○
⑧	塗潰タイプ	求積図形の塗りつぶしパターンを選択します	○
⑨	輪郭ペン	塗りつぶしの輪郭のペン番号を選択します	○
⑩	塗潰ペン	塗りつぶしパターンのペン番号を選択します	○
⑪	塗潰背景ペン	塗りつぶし背景のペン番号を選択します	○
⑫	塗りつぶし設定を無視する	チェックを入れると、求積図形の塗りつぶし設定を無視します	○

8-5-1 記号サイズ及び寸法サイズについて

- 記号サイズ及び寸法サイズは、1,000mmを基準とした倍率で設定します。
- 記号サイズ及び寸法サイズは、縮尺に追従しません。



- 記号内のフォントサイズ及び寸法のフォントサイズは、下表の通りです。

記号内のフォントサイズ	$1,000\text{mm} \times \text{記号サイズ} \times 0.8$ 記号サイズが 0.5 の場合、記号内のフォントサイズは 400mm となります
寸法のフォントサイズ	$1,000\text{mm} \times \text{寸法サイズ} \times 0.5$ 寸法サイズが 0.5 の場合、寸法のフォントサイズは 250mm となります

8-6 面積表

○ フロア別求積表のワークシート出力の設定をします。

環境設定

端数処理 モード設定 計算パターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2

① 求積図形求積表

② 列幅倍率1 3.00 ③ 列幅倍率2 45.00 ④ 列幅倍率3 12.00

⑤ ☒ 記号列表示

⑥ ☒ ヘッダー欄表示

⑦ 行高倍率 2.00

⑧ 最大行数 100

⑨ 表間列倍率 1 ⑩ 表間行倍率 1

⑪ 線ペン: 4

⑫ 文字サイズ(印刷時): 5.00 mm

⑬ フォント: MS ...日本語

⑭ 文字ペン番号: 1

⑮ 文字ペン番号マイナス: 20

インポート エクスポート F:\GRAPHISOFT\Archicad 28\Add-Ons\EPCOT Software\求積表カスタム キャンセル OK

番号	項目名	内容	Light
①	求積表選択	設定する求積表を選択します	○
		求積図形求積表 求積図形求積表の設定を行います	
		計算要素求積表 計算要素求積表の設定を行います	
		小計フォルダ求積表 小計フォルダ求積表の設定を行います	
		自動分割区画求積表 自動分割区画求積表の設定を行います	
②	列幅倍率 1	記号表示列の幅倍率を設定します	○
③	列幅倍率 2	計算式表示列の幅倍率を設定します	○
④	列幅倍率 3	面積表示列の幅倍率を設定します	○
⑤	記号列表示	チェックを入れると、記号・番号表示行を表示します	○
⑥	ヘッダー欄表示	チェックを入れると、ヘッダー欄を表示します	○
⑦	行高倍率	行の高さ倍率を設定します	○
⑧	最大行数	最大行数を設定します	○
		最大 500 行です	
⑨	表間列倍率	表間の列倍率(横方向の空き幅)を設定します	×
⑩	表間行倍率	表間の行倍率(縦方向の空き幅)を設定します	×
⑪	線ペン	表の罫線のペン番号を選択します	○
⑫	文字サイズ(印刷時)	フォントサイズを設定します	○
⑬	フォント	フォントを選択します	○
⑭	文字ペン番号	文字のペン番号を選択します	○
⑮	文字ペン番号マイナス	負の値の文字のペン番号を選択します	○

8-6-1 求積図形求積表

記号	計算式	面積
①	3.100×1.600	4.960000
②	1.800×1.600	2.880000
③	4.000×1.600	6.400000
④	0.000×1.600	1.440000

列幅倍率 1 列幅倍率 2 列幅倍率 3
 ヘッダー欄
 行高倍率
 記号列

8-6-2 計算要素求積表・小計フォルダ求積表・自動分割区画求積表

施工面積		
記号	計算式	面積
Ⅵ	V	0.00
	合計	0.00

列幅倍率 1 列幅倍率 2 列幅倍率 3
 ヘッダー欄
 行高倍率
 記号列

8-7 建物面積表

○ 建物求積表のワークシート出力の設定をします。

環境設定

端数処理 モード設定 計算パターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2

① 列幅倍率2
15

② 行高倍率 2

③ 表間列倍率 2 ④ 表間行倍率 1

⑤ 線ペン: 1

⑥ 文字サイズ(印刷時): 5.00 mm

⑦ フォント: MS ...日本語

⑧ 文字ペン番号: 1

インポート エクスポート F:\GRAPHISOFT\Archicad 28\Add-Ons\EPCOT Software\求積表カスタム キャンセル OK

番号	項目名	内容	Light
①	列幅倍率 2	列の幅倍率を設定します	○
②	行高倍率	行の高さ倍率を設定します	○
③	表間列倍率	表間の列倍率(横方向の空き幅)を設定します	×
④	表間行倍率	表間の行倍率(縦方向の空き幅)を設定します	×
⑤	線ペン	表の罫線のペン番号を選択します	○
⑥	文字サイズ(印刷時)	フォントサイズを設定します	○
⑦	フォント	フォントを選択します	○
⑧	文字ペン番号	文字のペン番号を選択します	○

施工面積

	居室	非居室	収納	専有
3FL	45.44	48.64	5.76	99.84
2FL	45.44	48.64	5.76	99.84
1FL	45.44	48.64	5.76	99.84
合計	136.32	145.92	17.28	299.52

列幅倍率 2

行高倍率

居室	非居室	収納
3FL	45.44	48.64
2FL	45.44	48.64
1FL	45.44	48.64
合計	136.32	145.92

行高倍率

列幅倍率 2

8-8 図形 1

○ 任意求積図形の三角形、四角形、台形の設定をします。

環境設定

端数処理 モード設定 計算パターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2

三角形

① 斜線タイプ: なし

② 斜線ペン: 1

③ 斜線線種: 実線

④ 垂線タイプ: タイプ2

⑤ 垂線ペン: 20

⑥ 垂線線種: 実線

⑦ ☒ 垂線作成位置: 図形内に自動調整

⑧ 記号オフセット X: 0.0

⑨

四角形

① 斜線タイプ: ×

② 斜線ペン: 1

③ 斜線線種: 実線

④ 記号オフセット X: 0.0

⑤

台形

① 斜線タイプ: ×

② 斜線ペン: 1

③ 斜線線種: 実線

④ 垂線タイプ: タイプ2

⑤ 垂線パターン: 左

⑥ 垂線ペン: 20

⑦ 垂線線種: 実線

⑧ 記号オフセット X: 0.0

⑨

インポート エクスポート F:\GRAPHISOFT\Archicad 28\Add-Ons\EPCOT Software\求積ツール\求積ツール 設定ファイル カスタム キャンセル OK

8-8-1 三角形

番号	項目名	内容	Light
①	斜線タイプ	求積図形に表示する斜線記号のタイプを選択します	○
②	斜線ペン	斜線記号のペン番号を選択します	○
③	斜線線種	斜線記号の線種を選択します	○
④	垂線タイプ	垂線タイプを選択します	○
		タイプ 1 直角記号を表示しません	
		タイプ 2 直角記号を表示します	
⑤	垂線ペン	垂線のペン番号を選択します	○
⑥	垂線線種	垂線の線種を選択します	○
⑦	垂線作成位置	チェックを入れると、三角形の任意求積図形作成時に垂線が図形内に収まるように自動調整します	○
⑧	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○
⑨	記号オフセット Y	記号・番号の図心からの Y 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○

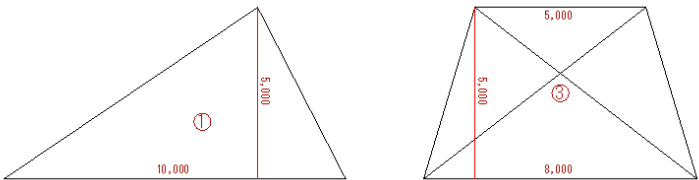
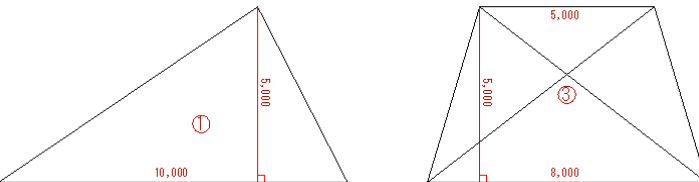
8-8-2 四角形

番号	項目名	内容	Light
①	斜線タイプ	求積図形に表示する斜線記号のタイプを選択します	○
②	斜線ペン	斜線記号のペン番号を選択します	○
③	斜線線種	斜線記号の線種を選択します	○
④	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○
⑤	記号オフセット Y	記号・番号の図心からの Y 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○

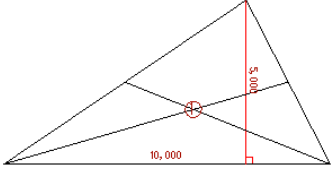
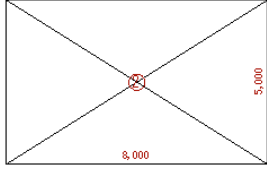
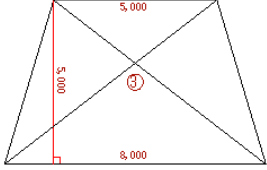
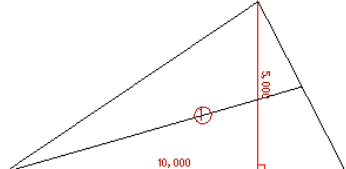
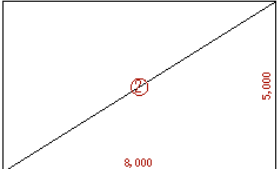
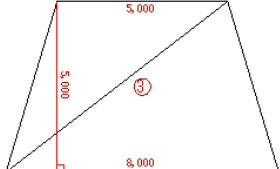
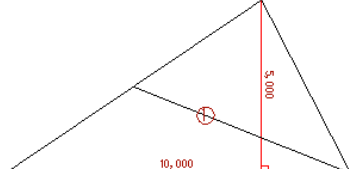
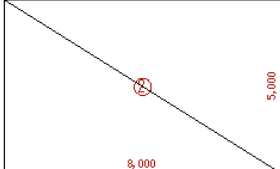
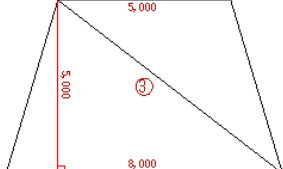
8-8-3 台形

番号	項目名	内容	Light
①	斜線タイプ	求積図形に表示する斜線記号のタイプを選択します	○
②	斜線ペン	斜線記号のペン番号を選択します	○
③	斜線線種	斜線記号の線種を選択します	○
④	垂線タイプ	垂線タイプを選択します	○
		タイプ 1 直角記号を表示しません	
		タイプ 2 直角記号を表示します	
⑤	垂線パターン	垂線の位置を選択します	○
⑥	垂線ペン	垂線のペン番号を選択します	○
⑦	垂線線種	垂線の線種を選択します	○
⑧	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○
⑨	記号オフセット Y	記号・番号の図心からの Y 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○

8-8-4 垂線タイプについて

垂線タイプ	図形
タイプ 1	
タイプ 2	

8-8-5 斜線タイプについて

斜線タイプ	図形		
×			
/			
/			

8-9 図形 2

○ 任意求積図形の扇形・弓型、円弧、正円、楕円の設定をします。

8-9-1 扇形・弓型

番号	項目名	内容	Light
①	半径線表示	チェックを入れると、半径線を表示します	○
②	半径線ペン	半径線のペン番号を選択します	○
③	半径線線種	半径線の線種を選択します	○
④	垂線表示	チェックを入れると、垂線を表示します	○
⑤	垂線ペン	垂線のペン番号を選択します	○
⑥	垂線線種	垂線の線種を選択します	○
⑦	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○
⑧	記号オフセット Y	記号・番号の図心からの Y 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○

8-9-2 円弧(3点)・円弧(中心)

番号	項目名	内容	Light
①	中心角表示	チェックを入れると、中心角を表示します	○
②	中心角ペン	中心角のペン番号を選択します	○
③	中心角線種	中心角の線種を選択します	○

※その他の設定は「扇形・弓型」の設定に準じます。

8-9-3 正円

番号	項目名	内容	Light
①	半径線表示	チェックを入れると、半径線を表示します	○
②	半径線ペン	半径線のペン番号を選択します	○
③	半径線線種	半径線の線種を選択します	○
④	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○
⑤	記号オフセット Y	記号・番号の図心からの Y 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○

8-9-4 楕円

番号	項目名	内容	Light
①	半径線表示	チェックを入れると、半径線を表示します	○
②	半径線ペン	半径線のペン番号を選択します	○
③	半径線線種	半径線の線種を選択します	○
④	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○
⑤	記号オフセット Y	記号・番号の図心からの Y 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	○

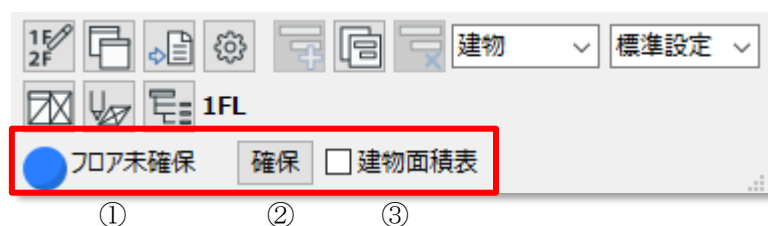
9 注意事項

9-1 チームワークプロジェクトでの利用に関して

- チームワークプロジェクトでは、メインパレットにチームワーク用コマンドが表示します。
- チームワークプロジェクトでは、同一フロアで複数名が同時に本システムを操作することはできません。
- 本システムで確保できる要素は、自動分画区画の元ゾーン及び求積ツール要素です。
- フロア別求積表は、選択したフロアのみ出力可能です。

9-1-1 チームワークプロジェクトでのメインパレット

・フロアを確保していない場合



・フロアを確保している場合



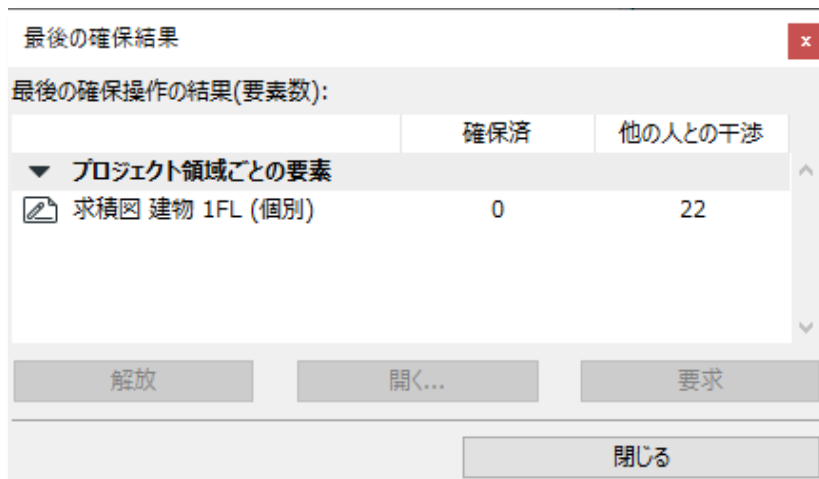
番号	項目名	内容	Light
①	確保状況表示	選択したフロアの自動分画区画の元ゾーン及び求積ツール要素の確保状況を表示します	○
		フロア未確保 選択したフロアで未確保です	
		フロア編集可能 選択したフロアで確保しています	
②	確保/解放	選択したフロアの自動分画区画の元ゾーン及び求積ツール要素を確保または解放します	○
③	建物面積表	チェックを入れると、建物求積表を出力します	○

9-1-2 選択したフロアで確保ができない場合

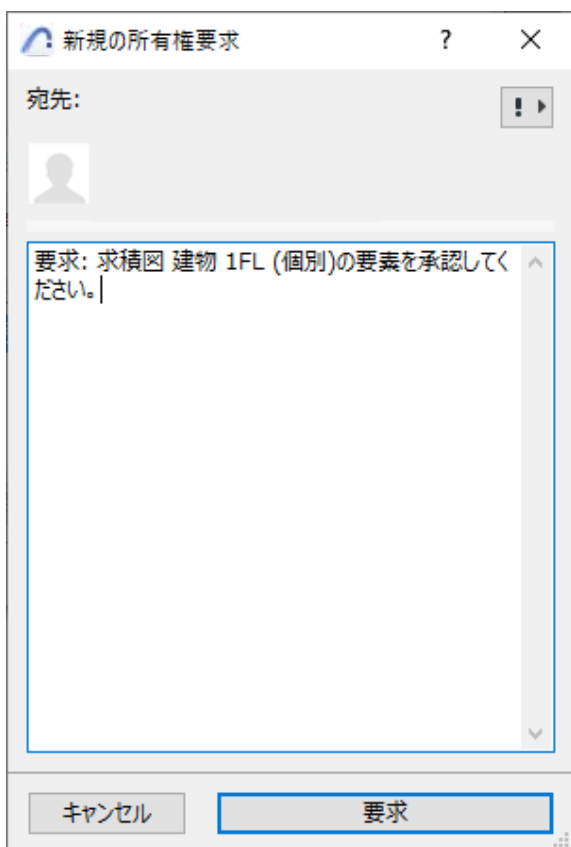
○ 選択したフロアで確保ができない場合は、必要に応じて「要求」を行います。

[操作手順]

- 1) メインパレットから、「確保」を選択します。
- 2) 「最後の確保結果」ダイアログが開きます。



- 3) 「要求」を選択します。
- 4) 「新規の所有権要求」ダイアログが開きます。



- 5) 「要求」を選択します。

10 その他

10-1 Light 版の機能制限

	項目	製品版	Light 版
メインパレット	フロア内容のコピーペースト	○	×
	環境設定の計算パターンの追加	○	×
	現在の計算パターンをプルダウンメニューに追加	○	×
	計算パターンの削除	○	×
	計算パターンの選択	○	×
	端数処理パターンの選択	○	×
環境設定 (端数処理)	求積図形	小数点第 0 位～6 位	小数点第 6 位で固定
	求積図形 List	小数点第 0 位～6 位	小数点第 2 位まで
	角度精度	小数点第 0 位～6 位	小数点第 2 位まで
	円周率	小数点第 2 位～9 位	小数点第 2 位で固定
	端数処理パターン作成	○	×
環境設定 (モード設定)	図形番号編集のモード選択	番号ロックモード、自動リナンバリングモード	番号ロックモードのみ
	図形数値にカンマを表示	○	×
	面積表数値にカンマを表示	○	×
環境設定 (計算パターン)	計算パターン作成・複写・削除	○	×
	計算パターン保存・読込	○	×
	計算パターン編集	○	×
環境設定 (面積表、建物面積表)	表間列倍率	○	×
	表間行倍率	○	×
自動分割区画	自動分割区画自動生成の種類	全て三角形、矩形横型、矩形縦型、図形内分解、穴に求積区画を作成	全て三角形、矩形横型のみ
求積図形作成	リナンバリング	○	×
	改行	自動改行、手動改行	手動改行のみ
面積表作成・編集	要素・フォルダを元に戻す	○	×
	計算パターンの表示項目を編集	○	×
	自動分割区画リスト	○	×
	名前(階)	○	×
	求積表の種類	計算式集計または一覧表集計	計算式集計のみ
	集計面積	求積区画、自動作成区画、求積区画+自動作成区画、任意入力	求積区画のみ
	改行	自動改行、手動改行、任意入力	手動改行のみ
	色	○	×

10-2 各種設定ファイルの保存場所

○ 本システムで自動的に作成される各種設定ファイルは以下の場所に保存されます。

Windows 版	ドキュメント¥EPCOT Software¥ArchiCAD**¥求積ツール
Mac 版	(Finder) 書類/EPCOT Software/ArchiCAD**/求積ツール

※ **はバージョンを示します。

※ 上記フォルダは本システムのデータに関連するファイルが保存されるため、削除しないでください。

10-3 サポートに関して

○ 本システムに関するお問い合わせは、原則としてメールのみの対応とさせて頂いております。

○ 必要事項を記載の上、support@epcot.co.jp まで御連絡ください。

○ 集計結果に関するお問い合わせ等、データを拝見しないと確認できない場合もありますのでご了承ください。

・お問い合わせ必要事項

保守契約番号 (Light 版の場合は Light 版である旨)

御社名

御氏名

御連絡先

内容 (できるだけ具体的に)

-
- 本書およびこのプログラムは、著作権上、生活産業研究所株式会社に無断で使用、複製することはできません。
 - このプログラムは、使用する本人がバックアップの為にコピーする場合を除き、コピーすることを禁じます。
 - 本書およびこのプログラムの運用上のトラブルについては、責任を負いかねます。
 - 本書およびこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがあります。
-

求積ツール for ARCHICAD Ver12 リファレンスマニュアル

2025 年 3 月初版

製作・発行

生活産業研究所株式会社

〒153-0043 東京都目黒区東山 1-6-7 フォーラム中目黒
